

# PARKING

No.251

2025. 7



一般社団法人全日本駐車協会第64回通常総会報告

総会講演会レポート

情報発信「アンテナ」(第24回)

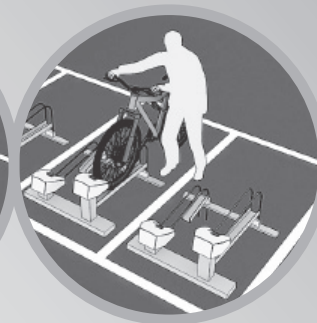
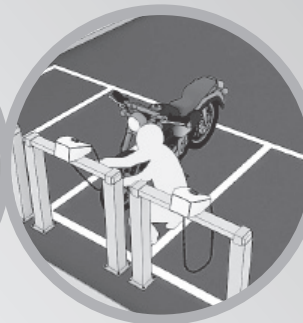
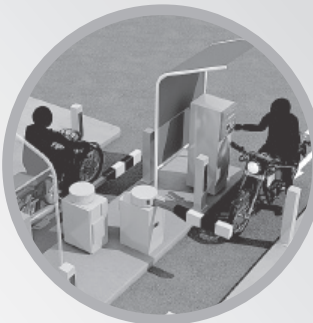
「カメラ式駐車場管理システム」の次のステージ

# 先進技術がつくる、 安心・安全のパーキングシステム

ロック板  
システム



車番認識  
システム



駐輪・駐バイク  
システム



車路管制  
システム

\* 駐車場の運営管理についても私たちに相談ください。

創造と信頼で未来をひらく  
**三菱フレイション株式会社**

本社・営業本部  
〒108-0075 東京都港区港南1-6-41  
芝浦クリスタル品川8階  
<https://www.mpcnet.co.jp>

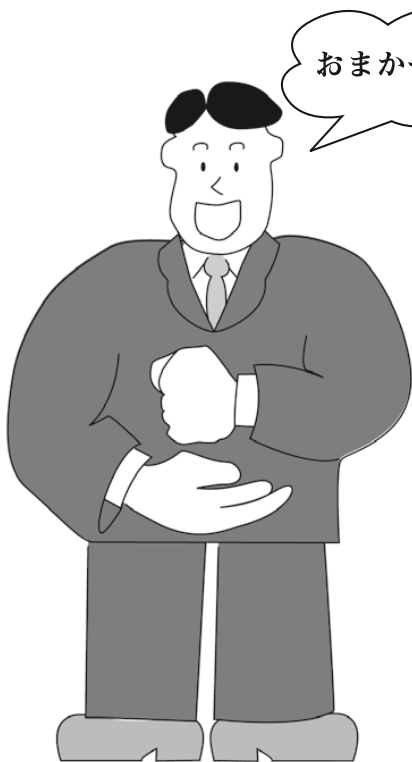
お問合せ先  
**駐車場システム営業部 ☎03-6712-1732**

中部支社	052-961-3557	静岡営業所	054-204-4505
関西支社	06-6484-7206	中四国営業所	082-546-2176
北海道営業所	011-213-7826	九州営業所	092-273-0880
東北営業所	022-216-4615		

機 械 式

# 駐車場・駐輪場の メンテナンス

・ 定期点検      ・ 緊急出動      ・ 故障修理



おまかせ下さい!

- 日本全国OK !!
- 24時間365日OK !!
- 大小問わずOK !!
- 合理的な料金でOK !!

遠隔監視システム  
での無人管理OK

# JAFS

JAPAN AUTO-PARK FIRST-AID SERVICE

一般社団法人 日本駐車場メンテナンス協会正会員

## 日本駐車場救急サービス株式会社

東京本社：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-6-1

TEL 03-3663-1755 (代) FAX 03-3663-1750

支 店：大阪、名古屋、福岡、金沢、大宮

URL <http://www.jafs99.co.jp/>

# パーキングシステムソリューションをご提案、富士ダイナミクス

ご相談

調査・検討

企画・検討

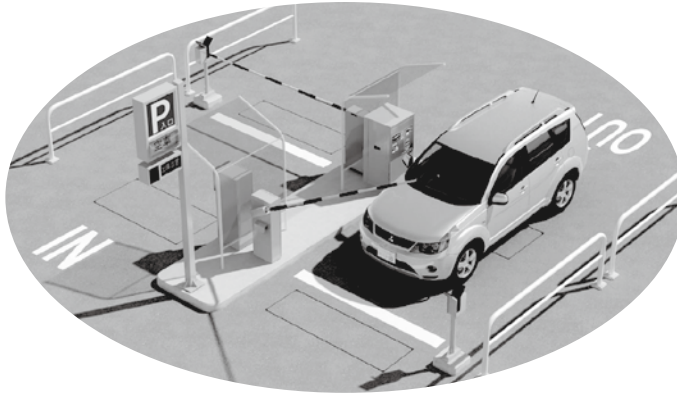
ご提案

ご契約

製造

設置・納品

アフターサービス



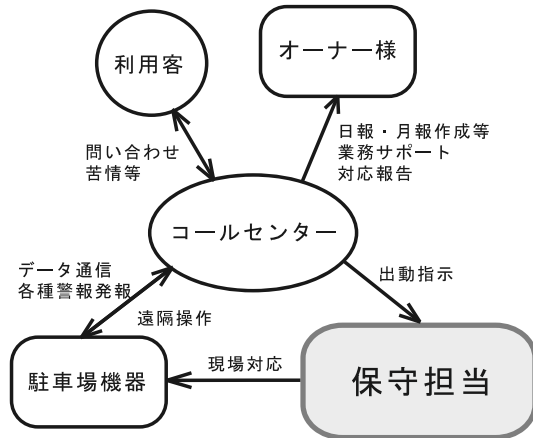
24Hr. 365日対応

駐車場メンテナンスサービス

コールセンターシステム フェイス

## FACE

Fuji-Dynamics Advanced Callcenter in Every way



三菱プレジジョン (株) 代理店

株式会社 富士ダイナミクス

技術/信用/実績でお応えします。

# FDC

ホームページ <http://www.fuji-dynamics.co.jp/>

- 本社 東京都目黒区青葉台1-28-9  
TEL 03 (3793) 5411
- 名古屋営業所 名古屋市瑞穂区大喜新町1-2-6  
ロイヤル牛巻第1 2階  
TEL 052 (883) 0700
- 丸の内サービスセンター 東京都千代田区有楽町1-10-1  
有楽町ビル4階 421  
TEL 03 (3287) 0594
- 湘南サービスセンター 鎌倉市山崎 662-2  
TEL 0467 (45) 6867
- 相模原出張所 相模原市中央区矢部1-3-14  
大河原ビル201号室  
TEL 042 (730) 6611

- 営業本部 東京都目黒区東山1-4-4  
目黒東山ビル4階  
TEL 03 (3793) 7411
- 大阪営業所 大阪市東淀川区東中島2-9-15  
TEL 06 (6325) 2761
- 横浜サービスセンター 横浜市西区みなとみらい2-2-1  
横浜ランドマークタワー29階  
TEL 045 (224) 2256
- 羽田サービスセンター 東京都大田区羽田空港 3-3-2  
東京国際空港旅客ターミナルビル  
三菱プレジジョン株式会社 内  
TEL 03 (5756) 7245

- 仙台営業所 仙台市太白区富沢1-11-21  
TEL 022 (244) 5461
- 福岡営業所 福岡市博多区中呉服町3-10  
勝冶呉服町ビル  
TEL 092 (282) 3491
- 湘南事業所 鎌倉市山崎 662-2  
TEL 0467 (45) 6867
- さいたま出張所 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1  
浦和パーキングセンター内4F  
TEL 048 (764) 9290

人とクルマのためのエコ・パーキングシステム

# 日本信号の 駐車場・駐輪場

「オーナーサポート」「利用者満足度」「環境負荷低減」  
安全と信頼のテクノロジーで人・都市・環境を考慮し、  
これからのパーキングシステムを考える日本信号。



日本信号エコ・パーキングシステム

- QRコード駐車券
- 省電力表示機器：ハーフLCD
- LED蛍光灯採用表示板
- 太陽光発電駐車場・駐輪場



ゲート式駐車場管理システム



ゲート式駐車場管理システム



パークロック駐車場管理システム



ワイクロック駐輪場管理システム



バイクロック駐車場管理システム



ゲート式自転車・バイク駐車場管理システム

 日本信号株式会社

<http://www.signal.co.jp/>

■AFC事業部 AFC営業部

〒100-8513 東京都千代田区丸の内1-5-1(新丸の内ビルディング 13階)  
PHONE:(03)3217-7373 FAX:(03)3217-7377

■大阪支社 交通システム営業部

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)  
PHONE:(06)6312-3856 FAX:(06)6312-8597

- 本社 〒100-8513 東京都千代田区丸の内1-5-1(新丸の内ビルディング13階)  
PHONE:(03)3217-7200 (代) FAX:(03)3217-7300
- 大阪支社 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル)  
PHONE:(06)6312-3851 (代) FAX:(06)6312-8597
- 北海道支店 〒060-0032 札幌市中央区北二条西3-1(太陽生命ビル)  
PHONE:(011)271-4161 (代) FAX:(011)221-1705
- 東北支店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-8-13大和証券仙台ビル11F  
PHONE:(022)2251-8371 (代) FAX:(022)225-4627
- 中部支店 〒430-8343 名古屋市中村区名駅1-14(JRセントラルタワーズ)  
PHONE:(052)267-2851 (代) FAX:(052)267-2878
- 九州支店 〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-30(山崎ビル)  
PHONE:(092)771-9175 (代) FAX:(092)714-8157

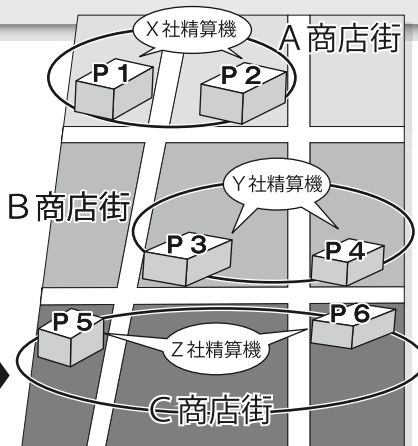
# 「全日駐規格・汎用（共通）サービス券」システム「リニューアル」

～コンパクトシティ施策の  
推進・地域活性化に向けて～

## 現状の問題点

- 精算機メーカー毎に各社個別の磁気式サービス券を使う必要がある。
- メーカー共通の磁気式サービス券がないため、クーポン券式サービス券を有人対応で使用すると、24H営業・無人化が難しい。

A、B、Cの各商店街はそれぞれ別々のサービス券が必要です



**解決**

カードリーダーやソフトウェア改修等



## 共通サービス券システム

- メーカーが異なる複数の精算機で、汎用（共通）で使える磁気式サービス券です。
- 料金サービスを共通化できます。
- 自動精算機がある場合、24H営業・無人化も可能になります。

A、B、Cの各商店街で発行したサービス券が全ての駐車場で使用できます



サービス券が2種類に！  
選択可能になりました！

現行仕様（制式スペック1）	追加仕様（制式スペック2）
JISⅡ型相当品	JISⅡ型相当品
カード上面に磁気記録層ストライプ	カード下面に磁気記録層全面コーティング
	

### ■お問い合わせ先

一般社団法人全日本駐車協会  
TEL 03(3528)8305

### ■対応精算機メーカー

アマノ株式会社  
日本信号株式会社  
三菱プレジジョン株式会社  
株式会社サニカ

TEL 045(439)1516  
TEL 03(3217)7373  
TEL 03(6712)1732  
TEL 055(284)2413

# 目 次

PARKING No.251 / 2025・7

目 次 .....5

□一般社団法人全日本駐車協会  
第64回通常総会報告 .....6  
会長挨拶・総会報告・役員名簿

□総会講演会レポート .....13

□総会後見学会参加レポート .....14

□各地駐車協会 新会長の挨拶 .....19  
福岡駐車協会 戸嶋 和夫

□各地駐車協会総会報告 .....20  
札幌駐車協会 仙台駐車協会 福島県駐車協会  
新潟駐車協会 千葉駐車場協会  
横浜駐車場協会 静岡県駐車協会  
名古屋駐車協会 兵庫県駐車場協会連合会  
福岡駐車協会

□駐車場コラム .....38  
東京海洋大学 名誉教授 苦瀬 博仁

□情報発信「アンテナ」(第24回)  
「カメラ式駐車場管理システム」の  
次のステージ .....41  
ピットデザイン株式会社  
代表取締役会長CEO 池末 浩規

□PARKING NOW .....58

■持続可能なまちづくりと都市交通の実現に  
向けた駐車場マネジメントの推進のための  
ガイドラインについて  
～民間事業者との連携の観点から～

国土交通省都市局街路交通施設課

■「全日駐規格共通駐車サービス券」導入に  
ついて

大分市中心部商店街振興組合連合会 事務局  
株式会社大分まちなか倶楽部 事業部長

増田 秀樹

・「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い

〔表 紙〕

大阪・関西万博

表紙についてはP.14をご覧ください。

□PARKING IN TOKYO .....70

■一般社団法人東京駐車協会第58回定期総会議事録

■役員名簿

■諸会議等報告

□事務局だより .....74

■令和7年度第2回理事会報告

■令和7年度第3回理事会のご案内

■令和7年度事務局長会議のご案内

■令和7年秋季駐車場研修会(国内)のご案内

■新会員のご紹介

・上町開発株式会社

・平和興産株式会社

・株式会社ニーリー

■委員会報告

■諸会議等報告

■会員動静

・表紙題材募集のご案内

・全日本駐車協会 会員メールアドレス提供のお願い

□暑中お見舞い(名刺広告) .....80

— P R —

アマノ株式会社 .....P52・裏表紙

日本信号株式会社 .....P3・P56

日本駐車場救急サービス株式会社 .....P1・P55

株式会社富士ダイナミクス .....P2・P51

三菱地所株式会社 .....裏表紙裏

三菱プレジジョン株式会社 .....表紙裏・P53

公益社団法人立体駐車場工業会 .....P54

— 協会事業のご案内 —

「全日駐規格・汎用(共通)サービス券」システム .....P4

駐車場案内標識のご案内 .....P90

# 全日本駐車協会 第64回通常総会のご挨拶



一般社団法人 全日本駐車協会

会 長 木 村 恵 司

一般社団法人全日本駐車協会 第64回通常総会のご案内をさせていただきましたところ、会員の皆様には、ご多用にもかかわらず、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

お蔭様で、予定しておりました議案の審議を執り行うことができました。この場をお借りして会員の皆様方に感謝申し上げます。

本日は公務ご多忙にもかかわらず、平素より協会活動に対して、ご指導ご鞭撻を頂いております、

・国土交通省 大臣官房技術審議官

服部 卓也 様

・警察庁 長官官房審議官 交通局担当

阿部 竜矢 様

・東京都 建設局道路監

久野 健一郎 様

のご臨席を賜っております。

この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

協会活動につきましては、先ほど事業報告で報告いたしました通り、コロナ禍前の「日常」を取り戻した活動となっており、昨年の秋季駐車場研修会では、6年ぶりの海外研修をロンドン、ドイツ・シュトゥットガルト他で実施しました。また、新年の賀詞交歓会は、東京駐車協会との共催による駐車協会単独での開催に改め、想定以上の会員の方々にご参加頂き盛会となりました。

さて、国際通貨基金(IMF)が4月に、2025年の「世界経済見通し」で世界全体の実質成長率を2.8%、日本の実質成長率を0.6% (両比率とも1月比▲0.5ポイント)と公表しました。これもトランプ米政権の関税強化や貿易摩擦激化などの影響を踏まえたものですが、「世界的な景気後退までは予測していないが、そのリスクは高まっている」との見方が一般的ではないでしょうか。

一方、国内においては、少数与党の下、今夏の参院選挙の結果が今後の国政や経済政策にど

のような影響を与えるのか見守る必要があります。

このように、社会経済情勢が変化しつつある中、昨今の駐車場や都市交通を取り巻く課題として、中心市街地における車の流入増に対する歩行者の安全性確保、既存駐車場の稼働率低下や余剰の発生、貨物需要増の中での荷捌きスペースの不足、インバウンド増による観光バス駐車場所の不足等が指摘されております。

こうした中、国土交通省では、「持続可能なまちづくりと都市交通の実現に向けた駐車場マネジメントの推進のためのガイドライン」を去る5月23日に公表しておりますが、

- \* 「人中心のウォークアブルな空間への転換」による魅力的な都市空間の創出
- \* 移動サービスの向上を図るための多様な交通モードとの連携等「総合的な都市交通システムの構築」
- \* まちづくりと連携した「駐車場マネジメントの推進」
- \* 新技術・駐車場データの活用

等々を掲げ、国、地方公共団体、民間事業者がそれぞれの立場で取り組んでいくための指針を示されております。

これらは、一つ一つの駐車場事業だけではなく、エリア・地区として駐車場をどのようにしていくか等、都市の重要なインフラとしての駐車場の役割やあり方が問われる時代になってきた証左でもあり、協会としての役割が高まっている所以でもあります。

会員の皆様の期待にお応えできるよう協会としても対応してまいり所存でございます。皆様方におかれましても、これまで以上のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠に有難うございました。

# □一般社団法人全日本駐車協会第64回通常総会報告

1. 日 時 令和7年6月11日(水)  
15時30分～16時15分
2. 場 所 東京都千代田区丸の内1-4-6  
日本工業倶楽部会館2階「大会堂」
3. 総会員数  
正会員 434名
4. 出席会員数  
出席会員数 315名  
内委任状提出会員数 246名
5. 議事の経過および内容  
報告事項 令和6年度事業報告  
第1号議案 令和6年度計算書類承認の件  
第2号議案 令和7年度事業計画承認の件  
第3号議案 令和7年度収支予算承認の件  
第4号議案 役員選任の件
6. その他

(1)令和6年度主な事業活動

①総会・理事会及び委員会活動

会議の名称	開催回数		
	実開催	書面開催	計
第63回通常総会	1		1
理 事 会	3	1	4
総務委員会	1		1
企画委員会	3		3
組織委員会	1		1
調査研究委員会	3		3
広報委員会	4		4
事務局長会議	1		1
合 計	17	1	18

※委員会は原則として対面とオンラインを併用したハイブリッド開催

※調査研究委員会の実開催数にはオンラインのみのWG1回を含む

②教育研修活動等

i) 通常総会時講演会

演題：「野球は楽し！甲子園から大谷翔平へ」

講師：小野塚 康之 様  
(元NHKアナウンサー)

ii) 総会後見学会

開催日：令和6年6月13日(木)・14日(金)

行 先：東京、宇都宮市ほか

行 程：

6月13日(木)

東京駅鍛冶橋駐車場集合→麻布台ヒルズ→迎賓館赤坂離宮→カンデオホテルズ宇都宮(宿泊)

※意見交換会は「かわらや宇都宮店」

6月14日(金)

カンデオホテルズ宇都宮出発→講演会(株)セレブリックス(宇都宮市委託先より)→宇都宮ライトレール乗車→大谷資料館→大谷寺→東京駅(解散)

参加者：36名

iii) 令和6年秋季駐車場研修会

日 時：令和6年10月12日(土)～19日(土)

場 所：ロンドン、シュトゥットガルト、フランクフルト

行 程：

10月12日(土)

羽田空港集合

10月13日(日)

視察：ロンドン市内

(ウェストミンスター寺院、等)

10月14日(月)

視察：ロンドンの駐車場

(London Cadogan Place駐車場、

London Saffron Hill駐車場)

10月15日(火)

ロンドンの再開発物件(8 Bishopsgate、

- Cityエリア、等)  
 10月16日(水)  
 シュトゥットガルトへ移動  
 視察：メルセデスベンツ博物館
- 10月17日(木)  
 視察：シュトゥットガルト中央駅再開  
 発現場周辺を含む市内、  
 ポルシェ博物館
- 10月18日(金)  
 フランクフルトへ移動  
 視察：フランクフルト市内  
 (シュテューデル美術館、  
 フランクフルト大聖堂、等)
- 10月19日(土)  
 帰国  
 参加者：32名
- iv) 事務局長会議後見学会  
 日 時：令和6年11月1日(金)  
 場 所：警視庁本部見学ツアー、駐車  
 場管理システム「CREPE」  
 視察  
 意見交換会：洋食伊勢十 青山店にて  
 開催
- v) 令和7年新春駐車場研修会  
 日 時：令和7年2月7日(金)  
 方 法：オンライン開催  
 共 催：当協会、(一社)東京駐車協  
 会、(一社)日本パーキングビ  
 ジネス協会、(公社)立体駐車  
 場工業会、(一社)日本自走式  
 駐車場工業会  
 講 演：①「駐車場政策の最近の動向」  
 国土交通省 都市局  
 街路交通施設課 企画専門官  
 鶴岡 陽一郎 様  
 ②「防災気象情報の活用 ～
- 大雨災害から命と安全を守る  
 ～」  
 東京管区气象台 気象防災部  
 観測予報課 主任技術専門官  
 鈴木 寿久 様  
 ③「モビリティ×駐車場の将  
 来像」  
 株式会社AMANE  
 代表取締役 井上 佳三 様  
 取締役 齊藤 せつな 様  
 参加者：201名(全日駐113名)
- vi) 令和7年春季駐車場研修会  
 日 時：令和7年3月7日(金)  
 場 所：羽田  
 行 程：視察：羽田空港P4駐車場、  
 ANA機体工場  
 意見交換会：梅欄  
 参加者：45名
- vii) 当協会後援  
 ①第26回新春特別ビル経営セミナー  
 日 時：令和7年1月29日(火)  
 主 催：一般社団法人 日本ビルデン  
 グ協会連合会 日本ビルデン  
 グ経営センター  
 後 援：当協会、東京駐車協会、東京  
 ビルディング協会、不動産協会  
 ほか  
 ②機械式立体駐車場Web安全講習  
 日 時：令和6年11月8日(金)～11月28  
 日(木)  
 主 催：公益社団法人 立体駐車場工  
 業会  
 後 援：当協会、消費者庁、国土交通省  
 ③その他活動  
 i) 団体パーキング保険  
 令和7年3月31日時点、契約数42件(前

年比+1)、会員数29件(前年比+1)。

- ii) 全日駐規格「汎用(共通)駐車サービス券」令和6年4月から大分でもサービス開始。7地区(浜松・秋田・八戸・新潟・福井・名古屋・大分)合計で加盟駐車場数173か所、駐車台数約20,800台

iii) 新年賀詞交歓会

日時：令和7年1月24日(金)  
 場所：日本工業倶楽部会館2階「大会堂」  
 主催：当協会、(一社)東京駐車協会

(2)令和7年度事業計画(基本方針)

駐車場事業を取り巻く環境の変化や駐車場に求められる役割がかわりつつある社会情勢を踏まえ、価値ある情報を収集し、会員及び駐車場関係者に広く発信していくこと、会員相互の情報交換・意見交換及び相互啓発を活発に行う。これらの取り組みが、業界の発展・成長に必ず寄与すると考え、本年度は活動基本方針として下記5つを重点に置き、協会活動を実施していく。

- ①各地駐車協会及び会員相互の情報交換・意見交換及び相互啓発の促進
- ②価値ある情報の収集と幅広い発信
- ③新規会員の入会促進
- ④協会独自事業の推進(団体パーキング保険・全日駐規格「汎用(共通)駐車サービス券」)
- ⑤国土交通省他関係官庁の各種施策への協力及び積極的な意見具申



[ご来賓挨拶]

ご来賓：国土交通省大臣官房技術審議官

服部 卓也 様

警察庁長官官房審議官交通局担当

阿部 竜矢 様

東京都建設局道路監

久野 健一郎 様

時間：16時20分～16時50分

次第：木村会長挨拶

ご来賓紹介

服部様 ご挨拶

阿部様 ご挨拶

久野様 ご挨拶



国土交通省大臣官房技術審議官 服部様



警察庁長官官房審議官 交通局担当 阿部様



東京都建設局道路監 久野 様

[講演会]

時 間：17時00分～18時00分

演 題：大河ドラマ「ペラボーの周辺」－吉原雑談

講 師：立教大学名誉教授 渡辺 憲司 様  
(講演内容については、「総会講演会レポート」をご覧ください)



講師 渡辺 様

講演者 立教大学名誉教授

渡辺 憲司 様

- ・感謝状贈呈  
中尾 卯作 様
- ・乾杯  
竹歳副会長
- ・歓談
- ・中締め  
富山副会長

参加者：95名



木村会長と中尾様

[意見交換会]

時 間：18時00分～19時30分

次 第：

- ・ご来賓紹介

国土交通省

都市局街路交通施設課長

青柳 太 様

都市局街路交通施設課

街路交通施設安全対策官

崎谷 唯比古 様

都市局街路交通施設課

企画専門官

鶴岡 陽一郎 様

一般社団法人日本パーキングビジネス協会

副理事長

吉川 幸孝 様

事務局長

山本 稔 様

一般社団法人日本自走式駐車場工業会

専務理事

亀村 幸泰 様

事務局長

若山 聡 様

公益社団法人立体駐車場工業会

専務理事

菊地 英一 様

事務局長

岡部 達郎 様



竹歳副会長



富山副会長

[見学会]

開催日：令和7年6月12日(木)・13日(金)

行 先：大阪、奈良方面

行 程：6月12日(木)

JR新大阪駅(集合)大阪・関西万博視察→グラングリーン大阪視察→意見交換会→グランドメルキュール奈良橿原(宿泊)

6月13日(金)

宿泊先→奈良観光(橿原神宮、今井町、大神神社)→昼食→JR新大阪駅(解散)

以上

一般社団法人全日本駐車協会 役員名簿

令和7年6月11日現在

役職名	氏名	所属協会	会社名等
会長	木村 恵司	東京	三菱地所株式会社
副会長	竹歳 誠一	〃	三菱地所株式会社
〃	富山 修一	新潟	新潟駐車場株式会社
常任理事	齋野 五兵衛	山形	株式会社ひろあき
〃	城阪 勝喜	大阪	松栄株式会社
〃	菅原 甚一	仙台	株式会社千松島
〃	須藤 憲一	千葉	株式会社須藤ビル
〃	江戸 耕介	東京	首都高速道路株式会社
〃	三野 武彦	〃	東京ガレージ株式会社
〃	永井 京子	横浜	横浜新都市センター株式会社
〃	湯川 雅史	東京	公益財団法人東京都道路整備保全公社
〃	依田 耕治	名古屋	株式会社エスカ
〃	戸嶋 和夫	福岡	中央地所株式会社
理事	三浦 修一	福島県	有限会社三浦商店
〃	宮浦 栄太郎	兵庫県	宮浦商事株式会社
〃	辻 清州	高松市	株式会社グランド劇場
〃	加藤 久喜	東京	有限会社スカイ・ガレージ嶋屋
〃	松澤 壮一	〃	株式会社銀座パーキングセンター
〃	大田部 功	高崎	柳通り駐車場
〃	藤井 一也	岡山	有限会社エフプラン
〃	増岡 真一	東京	株式会社鉄鋼ビルディング
〃	稲葉 一匡	静岡	静岡委託商事有限会社
〃	遠藤 隆三	札幌	遠藤興産株式会社
〃	中村 茂	埼玉	株式会社マサキ管理サービス
〃	大平落 忠	東京	三菱地所プロパティマネジメント株式会社
〃	菅沼 健太郎	大阪	三菱地所株式会社関西支店
〃	吉田 恭彦	東京	三菱地所パークス株式会社
〃	上條 恵二郎	〃	ダイビル株式会社
〃	山田 裕三	〃	株式会社サンシャイン・ビルマネジメント
〃	渡辺 英一	〃	タイムズ24株式会社
〃	内田 秀人	福岡	株式会社八百治
専務理事	荒井 昭雄	東京	一般社団法人東京駐車協会兼務
常務理事	中村 修和	〃	一般社団法人東京駐車協会兼務
監事	後藤 英夫	東京	株式会社藤久
〃	村田 仁史	〃	株式会社東京交通会館
〃	塩谷 剛史	名古屋	株式会社エンゼルパーク

## □ 総会講演会レポート

一般社団法人全日本駐車協会

演 題：大河ドラマ「べらぼうの周辺」－吉原雑談

講 師：立教大学名誉教授

渡辺 憲司様

第64回通常総会に引き続き、立教大学名誉教授 渡辺 憲司様より、大河ドラマ「べらぼうの周辺」－吉原雑談について、ご講演を頂きました。

### <講師紹介>

渡辺憲司様は1944年、北海道函館市生まれ。立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程単位取得退学、九州大学博士(文学)。梅光女学院大学助教授などを経て立教大学へ。文学部長、立教新座中学校・高等学校校長、自由学園最高学部長などを歴任。

主な著書に『江戸遊里盛衰記』（講談社）、『江戸遊里の記憶——苦界残影考』『江戸遊女紀聞——売女とは呼ばせない』（いずれも、ゆまに書房）、『いのりの海へ』（婦人之友社）、『江戸の岡場所 非合法<隠売女>の世界』（星海社）、監修に『江戸文学33 江戸文学と遊里』（監修、ペリカン社）など多数。

### <講演内容>

2022年第61回通常総会後講演会以来、2回目のご登壇となりました。大河ドラマ「べらぼうの周辺」－吉原雑談と題し、現在放映されている内容について、歴史背景等と照らし合わせて登場人物やエピソード等、ユーモアを交えたお話で、あっという間に1時間が過ぎてしまいました。多くの方が、もっと様々なお話をお聞きしたいと思う、内容盛りだくさんのご講演でした。詳細は当日配布した資料をご参照下さい。

<https://www.intelligence-nippon.jp/2025/04/10/4154/>

<https://www.intelligence-nippon.jp/2025/04/24/4414/>

## □ 第64回 総会后見学会参加レポート

Dahua Technology Japan 合同会社  
SI事業部 プロジェクトマネージャー 西本 匡

令和7年6月12日(木)・13日(金)、6月にもかかわらずすでに夏模様の日照りの中、「通常総会后見学会」に初めて参加させていただきました。駐車場事業のみならず、関連する施設を視察し、各社様と意見交換・交流を図ることで今後の事業推進の気づきを得られるよう参加させていただきました。

### 6月12日(木) 見学会1日目

- ・大阪・関西万博 視察
- ・グラングリーン大阪 視察
- ・意見交換会(和楽心 新庄店)

JR新大阪駅正面口1階 駅レンタカー前に9時50分に集合し、そのままバスで大阪・関西万博に向かいました。

大阪・関西万博(2025年日本国際博覧会)は、2025年4月13日から10月13日まで大阪市の夢洲(ゆめしま)で開催されている国際博覧会です。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」で、健康・医療・環境・テクノロジーなどを通じた持続可能な未来を探求します。150以上の国や国際機関が参加しており、パビリオンや最新技術の展示を通じて、多様な文化や価値観の交流を促進します。経済活性化や都市開発も期待される国家的プロジェクトです。



大阪・関西万博では、会員の皆様とオーストラリア館の見学を行いました。

オーストラリア館は、「Chasing the Sun — 太陽の大地へ」をテーマに、ユーカリの花をモチーフにした美しい外観が特徴です。館内では、先住民文化や自然、最先端技術を紹介し、ブッシュウォーク体験を通じて土地・空・海をめぐる没入型展示を楽しむことができます。また、文化公演やカフェも併設されており、日本との絆を深める交流の場として設計されています。持続可能な建材を活用した設計も注目されています。



オーストラリア館では、まず森を歩くような「ブッシュウォーク」体験に驚きました。ユ

ーカリの香りと映像が広がる空間で、実際に大自然の中に足を踏み入れたような気分になります。進むにつれて空に浮かぶエミューや水辺のシーンに移り変わり、光と音が織りなす演出に



圧倒されました。先住民文化の展示も心に残り、学びと感動の両方が得られる体験でした。

私はセキュリティカメラメーカーの人間な



ので、こうした視察の際にはついカメラを探してしまいます。オーストラリア館では、木材に埋め込まれた液晶ディスプレイに野生動物の映像が流れる演出の中で、その空間美を邪魔しないよう、非常にさりげなく溶け込んだ監視カメラを発見しました。その存在に気づいたとき、建設や設計に携わった方々の丁寧な配慮と、技術と空間演出の美しい共存に深く感銘を受けました。こうした演出は、機能性と没入感の両立を目指す展示空間づくりの理想だと感じました。

続いて、大阪梅田に戻り、グラングリーン大阪の視察を行いました。

グラングリーン大阪は、梅田貨物駅跡地約9.1万㎡を再開発し、都市公園「うめきた公園」を核に商業・オフィス・住宅・ホテル・MICE機能を融合した複合街区とのことです。2024年9月に北街区開業、南館は2025年春オープン、全体は2027年春に完成予定とされています。

三菱地所株式会社 関西支店の皆様からは、大阪市中心部の精巧なミニチュア模型を囲みながら、市街地全体の構造や将来像について丁寧にご説明いただきました。その中で、グラングリーン大阪が担う都市機能や開発コンセプトについても、都市と自然の共生を軸にわかりやすくご紹介いただき、全体像への理解が一層深まりました。



グラングリーン大阪を視察して、まず圧倒されたのは都市の真ん中に広がる緑のスケール感でした。梅田貨物駅跡地とは思えないほど自然豊かで、都市と自然が見事に調和しています。特に「うめきた公園」は、高低差のある地形や水辺、植栽の工夫により、ただの広場ではなく“歩きたくなる空間”として設計されており、訪れる人々の滞在意欲を高めていると感じました。空間全体に漂う洗練された雰囲気、都市開発の未来像を垣間見ました。

また、三菱地所パークス株式会社 CREPE営業推進室の皆様には、グラングリーンで採用されている駐車場管理クラウドシステム「CREPE」のご説明をいただき、実際に駐車場の視察をさせていただきました。

「CREPE」という名称には、“Create Excellent Parking Experience(素晴らしい駐車体験を創造する)”という想いが込められていることをご説明いただきました。実際にお話を伺い、QRコードによる精算やスマートフォンでの多様な駐車チケットの購入、さらにクラウド型の駐車場管理など、利用者の利便



性と管理効率を高める工夫が随所に施されている点に感心しました。また、すでに開業している商業施設のPOS端末と連携し、認証機のコスト削減も実現されており、現場視点に立った柔軟なシステム設計にも強く共感しました。



初日の見学はここで終了し、17時に大阪・梅田を出発して奈良県へ移動。意見交換会は和楽心 新庄店にて開催されました。大阪・関西万博およびグラングリーン大阪の視察では、各所を巡る中で長距離の徒歩移動が続き、ある方の万歩計では2万歩を超えていたとのことでした。しかしながら、企画委員会・後藤委員長のご発声による乾杯と、加藤副委員長の中締めにより、会は終始和やかかつ活気ある雰囲気の中で進みました。皆さん、その疲れを感じさせることなく、視察を振り返りながら有意義な意見交換が交わされ、実り多い1日の締めくくりとなりました。



## 6月13日(金) 見学会2日目

- ・ 橿原神宮 視察
- ・ 今井町 視察
- ・ 大神神社(おおみわじんじゃ) 視察
- ・ 昼食(夢宗庵)

8時30分にホテルを出発し、まずは橿原神宮へ向かいました。

橿原神宮は、日本神話に登場する初代天皇・神武天皇を祀る「日本建国の聖地」として知られています。

1890年に創建され、神武天皇が即位したとされる畝傍山のふもとに位置しています。広大な境内には檜造りの社殿や神聖な杜、鏡池が整備され、年間を通じて多くの参拝者や観光客が訪れる奈良を代表する名社のひとつのことです。

境内に一歩足を踏み入れると、外の喧騒とは一線を画す静寂と清らかな空気に包まれ、自然と背筋が伸びるような感覚になり、参道の木立や鏡池に映る風景、本殿の厳かな佇まいは、歴史や文化を肌で感じさせてくれました。施設としての整備も行き届いており、案内や動線もわ

かりやすく、学びと癒しの両面で非常に印象深い視察となりました。



次に、今井町へ向かい、戦国時代から江戸時代にかけて形成された「寺内町」の風情を色濃く残す歴史的な町並みを視察しました。重要伝統的建造物群保存地区にも選定されており、現在でも約500棟の江戸期の町家や土蔵が現存し、「大和の金は今井に七分」と称されるほど栄えたといわれているそうです。

その町並みは、格子戸の連なる古民家や石畳の通り、手入れの行き届いた植栽など、すべてが丁寧に保存されており、地域の皆さんの誇りと努力が感じられます。現代的な機能を採用しつつも、それに侵されすぎている落ち着いた雰囲気の中で、ただ歩くだけでも歴史や暮らしの息遣いが伝わってくる場所でした。



最後に、大神神社を訪問しました。奈良・桜井市の三輪山を神体とする日本最古級の神社です。本殿を持たず、拝殿奥の「三ツ鳥居」を通して山そのものを拝む、古代信仰の形が保たれています。主祭神は大物主大神(おおものぬしのおおかみ)で、国造り・医療・酒造・縁結びなど人々の生活全般を守護すると伝わります。大物主大神は、しばしば白蛇の姿で現れると伝えられており、白蛇は神の使い=神霊の化身とされ、神聖視されているそうです。

実は三輪は、そうめん発祥の地とされ、古くから「三輪そうめん」の名で全国に知られる名産地です。大神神社を参拝した後は、周辺の物産店で多くの方が「葛入りそうめん」を熱心に探されていましたが、なかなか見つからない様子でした。

後から伺ったところによると、葛を練り込んだそうめんは、通常的小麦だけで作られたもの



よりも、もちっとした強いコシとのどごしの良さが特徴で、特に冷水で締めるとその差が際立ち、暑い季節にはぴったりの爽快な味わいが楽しめるのだそうです。

そして全行程の視察を終え、昼食のために立ち寄った「夢宗庵」では、まさにその葛入りそうめんが販売されており、皆さんが昼食前にもかかわらず大行列をつくって購入されていたのが印象的でした。偶然の出会いでしたが、地域の食文化への関心と魅力を再発見する貴重なひとときとなりました。

最後に、今回が初めての参加となりましたが、かけがえのない貴重な経験をさせていただき、心より感謝申し上げます。見学会の実施にご尽力くださった事務局の皆様、そして総会から見学会に至るまで、素晴らしい企画と丁寧な調整を行ってくださった全日本駐車協会の皆様に、改めて深く御礼申し上げます。

## 各地駐車協会 新会長の挨拶



福岡駐車協会

会長 戸嶋 和 夫

新しく福岡駐車協会会長に就任した中央地所株式会社の戸嶋です。前中尾会長の後任として務めさせていただきます。

福岡駐車協会は昭和34(1959)年7月に発足しました。

当時より全日本駐車協会との連絡を密に、国の政策・施策・所轄省庁の方針を手早く情報収集し、地元福岡の駐車場開発計画に役立てるべく尽力してまいりました。

福岡市の地は、その中心を流れる那珂川西岸に古くからは商人の町としての筑前博多として発展、徳川幕府開府とともに、黒田長政公が筑前に封ぜられ、那珂川西岸に福岡城を築城し福岡藩(黒田藩)の城下町が発達しました。福岡の由来は、長政の父黒田官兵衛の出身地である現在の岡山県の福岡という地名を取って福岡城と命名したのだそうです。

以後、福岡と博多が共存共栄。明治には、合わせて福岡市となり、現在の人口は166万人を超え、近隣市町村を含む経済圏人口は230万人以上となります。

福岡市、特にその中心となる地域には駐車場需要が増えるのは当然の流れです。

東京・神奈川・千葉・埼玉からなる東京首都圏は、複数の副都心を起点とするJR・各私鉄・東京メトロ・都営地下鉄の相互乗り入れの結果、世界有数の公共交通機関網を構築、短時間で容易な広域移動能力を実現してきました。

歴然たる規模の違いはあるものの、当地福岡も、同様の再開発事業の最中にあります。

前述の歴史的経緯から、現代の福岡都市圏には、JRの博多駅、私鉄の起点の天神の二つの中心があり、天神の広域再開発が先行、新型コロナの影響で、完成は2026年12月31日に繰延べ、後発の博多駅地区(博多コネクティッド)再開発は、2028年12月31日までに竣工のビルが対象となっています。

そんな中、福岡駐車協会は駐車場の利便性の向上、明確な立ち位置を見極め、流動する状況を読み取り、技術の発展に伴う駐車場のあるべき姿を会員諸氏とともに考えられるよう、全日本駐車協会はもとより、福岡市・福岡県警交通企画課・交通規制課、等々から迅速な情報収集を続け、密接な意見交換、情報共有、政策陳情を積み重ねつつ、会員の皆様との連携を密に、一丸となって前進を図り、尽力する所存です。

## □各地駐車協会総会報告□

## 札幌駐車協会 第58回定期総会報告

## 1. 日 時

令和7年5月13日(火)

午前11時00分～11時30分

## 2. 場 所

札幌市中央区北1条西2丁目

北海道経済センター 8階 「Aホール」

## 3. 出席人員

議決票人員

本人出席 9名

委任状 12名

計 21名

会員 正会員 23名 賛助会員 8名

計31名

## 4. 議 案

第1号議案 令和6年度事業報告(案)並びに収支決算承認に関する件

第2号議案 令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)決定に関する件

第3号議案 退任役員の補充選任(案)に関する件

全議案について、出席者全員の賛成を得、原案どおり承認可決された。

## 5. その他

事務局より事務局体制の変更について報告があった。

## 6. 議事のうち、主要事項

## (1)令和6年度事業報告

当年度の経済環境はインバウンドの回復等もあり堅調基調が続いたものの物価上昇も続いたことから実質所得の改善に

までは至らず、海外経済では先行き不確実性要因が強まった。

当協会は昨年度から引き続いて例会、見学会等の活動展開を目指し、(一社)全日本駐車協会の行事への参加や他団体との共催による見学会やセミナー、親睦活動等を実施した。

## (2)令和7年度事業計画

## &lt;基本方針&gt;

本年度も会員組織の強化を図り、(一社)全日本駐車協会との連携により当協会会員を取り巻く諸課題に取り組むこととし、会員の駐車場経営の一層の安定化に資する活動展開を図る方針とした。

## &lt;施 策&gt;

1. 新規会員の加入を積極的に図り、組織の拡大強化安定に努める。
2. 駐車場経営の健全な発展のため、情報の早期把握、調査、研究を積極的に行い、資料等の適切な配付を行う。
3. 関係諸官庁の行政に対処し、事故防止等の交通安全、自動車盗難等の防止に協力するため、(一社)全日本駐車協会及び関係機関との連携強化に努める。
4. 会員の経営向上と親睦を図るため、講演会、研修会、情報交換会等を開催する。
5. 札幌市が展開する都心交通政策に対し、当協会会員の意見反映に努める。

以上



総会開催模様・出席者集合写真

## 札幌駐車協会 役員名簿

令和7年5月13日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	遠藤 隆三	遠藤興産(株)
副会長	水落 隆志	札幌商工会議所
常任理事	葛西 克彦	三菱地所(株)北海道支店
理事	瀬尾 昌資	サントー(株)
〃	東 幸治	三井不動産(株)北海道支店
〃	田中 俊成	(株)札幌都市開発公社
監事	真木 陽子	(株)丸真真木呉服店
〃	山崎 年恵	(株)まるいち

## □各地駐車協会総会報告□

## 令和7年度 仙台駐車協会 第63回定時総会

1. 日時 令和7年5月26日(月) 11:30~13:30  
16:30~18:00 場 所 ホテルグランテラス仙台国分町
2. 場所 仙台ロイヤルパークホテル 出席者 役員10名、事務局1名
3. 第63回定時総会開催方法の決議 議 題 (1)定時総会提出議案の審議  
賛成25、反対0、回答なし2 計 27社 (2)第62回定時総会開催について  
会員 正会員 16社 賛助会員 11社 (3)その他
4. 議事 第2回役員会  
議案 日 時 令和6年9月2日(月)  
11:30~13:30  
第1号議案 令和6年度事業報告の件 場 所 ホテルグランテラス仙台国分町  
第2号議案 令和6年度収支決算報告の件 出席者 役員9名、事務局1名  
第3号議案 令和7年度事業計画案承認の件 議 題 (1)秋季研修会の件  
第4号議案 令和7年度収支予算案承認の件 (2)会員動静について  
第5号議案 役員改選の件 (3)その他  
上記の議案は原案どおり可決成立した。

## 令和6年度事業報告

1. 定時総会 第3回役員会  
令和6年度第62回定時総会 日 時 令和6年11月26日(火)  
17:00~18:00  
場 所 大観楼  
出席者 役員9名、事務局1名  
議 題 (1)新春研修会開催の件  
(2)賛助会員の動静について  
(3)その他
2. 役員会 3. 秋季研修会  
第1回役員会 日 時 令和6年10月24日(木)  
13:30~17:00  
場 所 ダスキン仙台中央工場及び泉パークタウン朝日センターハウス  
参加者11名  
※ダスキン仙台中央工場見学  
※講演テーマ「DVD視聴・廃
- 令和6年度事業報告  
1. 定時総会  
令和6年度第62回定時総会  
日 時 令和6年5月29日(水)  
16:30~18:00  
場 所 仙台ロイヤルパークホテル  
第1号議案 令和5年度事業報告の件  
第2号議案 令和5年度収支決算報告の件  
第3号議案 年会費改定及び会則改定の件  
第4号議案 令和6年度事業計画案承認の件  
第5号議案 令和6年度収支予算案承認の件  
上記の議案は原案どおり可決成立した。

水処理のメカニズム及び実験」  
 講師 ダスキン仙台中央工場  
 取締役 検査仕上部長  
 安達 均 様  
 ※泉パークタウン朝日地区見学  
 「お住まいの皆様専用サービスについて」の説明  
 講師 三菱地所(株)  
 東北支店 様

5. 新春研修会

日時 令和7年2月5日(水)  
 16:30~17:30  
 場所 ANAホリデイ・イン仙台  
 参加者12名  
 ※講演テーマ「今後の開発・まちづくりに応じた交通政策・駐車場政策と自動運転を含む新たな交通手段の動向」  
 講師 (一社)計量計画研究所  
 東北事務所 次長  
 福本 大輔 様

4. 忘年会

日時 令和6年11月26日(火)  
 18:00~20:00  
 場所 大観楼  
 参加者15名

以上

仙台駐車協会 役員名簿

令和7年5月26日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	菅原 甚一	株式会社千松島
副会長	増渕 多俊	三菱地所株式会社東北支店
〃	松坂 卓夫	松栄不動産株式会社
〃	西井 俊正	株式会社ダイコク
理事	桃野 智文	稲荷タクシー有限公司
〃	高橋 悦史	第一ビル株式会社
〃	五十嵐 善正	株式会社シー・シー・マインド
監事	股野 公祐	株式会社青葉ビル
〃	大森 一美	株式会社福田商会

□各地駐車協会総会報告□

福島県駐車協会 第63回定期総会報告

- 1. 期 日 令和7年6月10日(火) 17時00分から17時30分
- 2. 場 所 福島市大町 中華飯店精華苑
- 3. 出席人員 出席会員 8名  
委任状 19名  
計 27名  
(会員 正会員36名 賛助会員0名 計36名)
- 4. 議 事
  - 第1号議案 令和6年度事業報告、会計決算報告、監査報告承認の件
  - 第2号議案 令和7年度事業計画(案)、会計収支予算(案)承認の件
- 5. その他
  - (1)令和6年度事業報告
    - 【令和6年】
    - 4月20日 福島県駐車協会 理事会・監事会(中華飯店精華苑)
    - 5月20日 福島地区交通安全協会 定期総会(杉妻会館)
  - (2)令和7年度事業計画(案)
    - 【令和7年】
    - 5月 福島県駐車協会理事会及び監査会
    - 6月 福島県駐車協会 第63回定期総会
    - 6月 全日本駐車協会 第64回通常総会
    - 11月 全日本駐車協会 事務局長会議
    - 【令和8年】
    - 1月 全日本駐車協会 定例理事会
    - 3月 福島県駐車協会 監査準備会
    - その他 福島地区交通安全協会定期総会 年間会員の増強など

以上

福島県駐車協会 役員名簿

令和7年6月10日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	三浦修一	有限会社三浦商店
副会長	横田重一	有限会社海老屋
理事	尾越建一	株式会社帝北ロジスティックス
〃	佐藤和子	有限会社佐平
〃	橋本善郎	橋本地所株式会社
〃	鈴木正晃	有限会社鈴伊
監事	二瓶誠志	有限会社いまり
〃	渡邊信幸	株式会社エスケーコーポレーション

□各地駐車協会総会報告□

## 新潟駐車協会 令和7年度定時総会報告

1. 日 程：令和7年5月23日(金)
2. 会 場：ホテルオークラ新潟
3. 出席人員：議決票人員  
 本人出席 15名  
 委任状 4名  
 欠 席 5名  
 計 24名  
 会員 正会員 24名  
 賛助会員 4名  
 計 28名
4. 議 事  
 議 案  
 第1号議案 令和6年度事業報告並びに収支決算報告・監査報告承認に関する件  
 第2号議案 令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)決定に関する件
5. 令和6年度事業報告(抜粋)  
 (1)令和6年11月19日 山形駐車協会との懇談会 ホテルイタリア軒(新潟市)  
 (2)令和6年11月28日 研修会(講演)「新潟市のまちづくりの近況」  
 新潟市都市政策部都市計画課 課長 佐藤功一 氏
6. 令和7年度事業計画(抜粋)  
 (1)新規会員の入会促進  
 (2)新潟市との協調と連携  
 (3)新潟古町まちづくり株式会社への協力と連携
7. その他  
 総会終了後、同会場において、意見交換会を開催した。

以上

### 新潟駐車協会 役員名簿

令和7年5月23日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	富 山 修 一	新潟駐車場株式会社
副 会 長	大 塚 善 紀	大市繊維品株式会社
専務理事	山 崎 太	株式会社千歳
常任理事	猿 子 康 雄	新潟駐車場株式会社
理 事	金 子 英 一	新潟交通株式会社
監 事	渡 辺 勝 行	株式会社INPEXビジネスサービス

## □各地駐車協会総会報告□

## 千葉駐車場協会 定時総会報告

## 〔総会内容概要〕

総会開催日：令和7年2月28日（金）

時 間：11時～

開催場所：千葉商工会議所13階 特別会議室

出席：14社

委任状：18社

欠席：7社

会員 正会員 30社

賛助会員 8社

特別会員 1社

計39社

計39社

2月26日（月）会長副会長会議

2月26日（月）理事会・定時総会

8月20日（火）会長副会長会議・理事会

その他会議 全日本駐車協会主催

4月12日 理事会

10月12日 秋季海外駐車場研修会

11月 1日 事務局長会議

## 〔議 事〕

議案第1号 令和6度事業報告承認に関する件

議案第2号 令和6度収支決算承認に関する件  
（監事による監査結果報告）

議案第3号 令和7度事業計画（案）承認に関する件

議案第4号 令和7度収支予算（案）承認に関する件

議案第5号 役員選任に関する件

上記すべて原案どおり承認された。

## 〔事 業〕

駐車場賠償責任保険の団体契約の継続

内 容 自動車管理者賠償責任保険及び  
施設管理者賠償責任保険

保険金額 1億円

免責金額 5万円

保険期間 令和6年8月23日より1年間

宣伝広告事業

・ 広報誌や協会ホームページ等に会員情報や  
違法駐車禁止等のPRを掲載

調査事業

・ 駐車場現況調査を実施

## 〔令和6度事業報告〕

（会員の概況） 令和6年12月31日現在

会員 30駐車場

賛助会員 8社

特別会員 1社

（各種会議の書面決議）

令和6年

## 〔令和7年度事業活動の方針〕

千葉県における駐車場事業者の団体として、駐車場事業の育成と発展のための各種調査や賠償責任保険への団体加入を行い、千葉市あるいは千葉県内の警察などが実施する交通行政の運営に協力する。

さらに講習会の開催や会員駐車場の利用促進のための広報活動などを展開し、駐車場事

業の繁栄・発展を図る。

〔令和7年度事業計画〕

1. 自動車管理者・施設所有者管理者賠償責任保険の継続契約
2. 関係機関との連携について
3. 調査研究事業
4. 駐車場経営支援について
5. 新会員の加入促進について
6. その他

総会終了後に千葉県西部防災センター視察

以上

千葉県駐車場協会 役員名簿

令和7年2月28日

役職名	氏名	会社名等
会長	須藤 憲一	(株)須藤ビル
副会長	木村 智信	(株)千葉パーキングセンター
〃	谷口 淳	(株)ロケイト
常任理事	吉野 秀和	海浜不動産(株)
会計理事	時松 進一郎	和光ファーム(株)
理事	岡田 和之	千葉市市民局市民自治推進部 地域安全課長
監事	橋本 春樹	園石駐車場
〃	濱田 俊広	塚本大千葉ビル駐車場
顧問	吉野 毅	千葉商工会議所 専務理事
相談役	山田 幹司	千葉県警察本部交通部 交通指導課長
〃	飯島 秀治	千葉県警察本部 千葉市警察部総務課長

## □各地駐車協会総会報告□

## 横浜駐車場協会 第48回 定時総会報告

1. 日時：2025年4月17日(木)
2. 会場：横浜市中区山下町30  
ロイヤルホールヨコハマ
3. 出席者等：会員総数46社のうち出席25社、委任状16社  
横浜市より来賓4名が出席
4. 議案  
第1号議案 2024年度事業報告承認の件  
第2号議案 2024年度収支決算報告承認の件  
第3号議案 2025年度事業計画決定の件  
第4号議案 2025年度収支予算決定の件  
第5号議案 役員選任の件  
以上について審議を行い、原案通り承認されました。

## 5. その他

## (1)研修会

## ①夏期研修会

- 日時 2024年7月26日(金)  
場所 横浜新都市ビル9階 ミーティングルームA  
参加者 36名  
内容 講演  
＜第一部＞「横浜市の駐車場施策について」  
＜講師＞横浜市都市整備局  
八子 俊昇 様  
＜第二部＞「駐車場キャッシュレス機能の現状とこの先」  
＜講師＞三菱地所パークス株式会社  
増田 高明 様

## ②秋期研修会(施設見学会)

- 日時 2024年11月27日(水)  
場所 東京都内  
参加者 23名  
内容 「東京駅八重洲パーキング」視察  
「東京ミッドタウン八重洲」視察  
「バスターミナル東京八重洲」視察  
「麻布台ヒルズ森JPタワー駐車場」視察

## (2)調査関係

2024年度「駐車場現況調査」：会員の皆様のご協力をいただき、4月1日現在で実施いたしました。  
調査結果を『2024年度 横浜駐車場協会会員名簿』に取りまとめ、各会員に配布いたしました。

## (3)事業計画

## ①政策活動

- ・駐車場行政・駐車場経営について関係行政機関との連携を図り、意見交換会等を実施します。
- ・一般社団法人全日本駐車協会と連携し、駐車場関係の諸課題について要望活動等を実施します。

## ②研修活動

- ・駐車場関係者の知識向上のため、駐車場の整備、経営、管理等に関する講演会や先進的な駐車場の視察研修会などを実施すると共に会員相互間の情報交換を推進します。

- ・一般社団法人 全日本駐車協会主催の研修会等に積極的に参加します。

### ③広報活動

- ・協会の活動状況、駐車場関連情報などを会員に提供するために、協会だよりを適宜発行します。
- ・会員名簿および会員駐車場の現況調査をするための現況調査票のデータ集計を行い、集計表を配布します。

以上

## 横浜駐車場協会 役員名簿

令和7年4月17日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	永井京子	横浜新都市センター株式会社
副会長	吉田泰治	吉田興産株式会社
〃	細野徳重	三菱地所株式会社横浜支店
〃	鈴木秀行	株式会社相鉄ビルマネジメント
理事	小島泰	株式会社産業貿易センター
〃	橋田弘幸	イースタン商事株式会社
〃	荒原伸治	公益財団法人横浜市緑の協会
〃	吉江竜哉	株式会社横浜スカイビル
監事	川北好伸	一般財団法人首都高速道路協会神奈川支所
〃	中勇人	横浜ダイヤビルマネジメント株式会社
アドバイザー	八子俊昇	横浜市都市整備局交通企画課
〃	宮本康司	横浜市道路局道路部施設課
事務局長	鈴木誠	横浜新都市センター株式会社

## □各地駐車協会総会報告□

## 静岡県駐車協会 令和7年度通常総会 報告

総会開催日：令和7年6月26日(木)

時 間：11時00分

開催場所：稲森パーキング 会議室

出席会員：5名(うち委任状 2名)

現在会員数：5名

○定刻11時00分開会

## 議 事

第1号議案 令和6年度事業報告承認の件

第2号議案 令和6年度収支報告承認の件

第3号議案 令和7年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 令和7年度収支予算(案)承認の件

## [事業報告]

- ・全日本駐車協会に会員数、会員名簿等の報告を行った。
- ・地区会員に対して機関誌PARKINGおよび全日本駐車協会からの通達を随時送付した。
- ・令和6年6月12日第63回全日本駐車協会通常総会に出席した。
- ・令和6年6月26日静岡県駐車協会総会を開催した。
- ・令和6年11月1日全日本駐車協会事務局長会議に出席した。
- ・令和7年3月7日春季駐車場研修会に参加した。
- ・その他、静岡市防犯まちづくり県民会議に構成団体として出席した。

## [令和7年度事業計画概要]

1. 関係官庁と連絡を保って都市交通、駐車

対策の諸施設に関する提言、要望並びに陳情などを行う。

2. 全日本駐車協会機関誌「PARKING」年4回配布に協力し、最新のニュースや有益な統計資料及び関連業界の情報等を伝える。
3. 全日本駐車協会が定期的実施する研修会、見学会に積極的に参加し見聞を広める。
4. 全日本駐車協会に対し必要事項を要請し、地区協会の啓蒙発展に努める。
5. 地区協会相互の連絡を密にし、当地区の駐車場関係の諸問題について、その改善解決に努める。

## [会員間の情報交換]

- ・各会員の業況について各々から説明があり、その後、情報交換、意見交換を行った。
- ・静岡市清水区でのETC決済と車番認識の併用駐車場の状況報告があり、ETC決済、割引対応、スマホとの連携操作についての説明があった。
- ・駐車場内の空きスペースをタイムズ社にカーシェア利用スペースとして提供し、有効活用を図った事例報告があった。
- ・静岡市中心街道路沿いにフラップレス、ゲートレスでカメラ監視のみのコインパークが出来たとの報告があった。
- ・静岡市内のデパート、百貨店では無料駐車サービス券方式から認証機方式に切り替わ

ってきている。紙ベースの同サービス券の  
販売・利用は無くなる傾向にある。

- ・新しい決済システムはスマホと連動した操作になっており、若者には受け入れ易いと思うが、年配者には益々ハードルが高くなってきているとの意見があった。

駐車場決済にも大げさに言えばデジタルデ  
バイドの存在を感じる。

- ・出席者との様々な意見交換で、あっという間に時間が経過してしまった。
- ・最後に今後も会員間の連絡を密にし、情報交換、意見交換を実施していくとした。

特にスマホを使った決済システムは、メー  
カーを呼んでの勉強会実施希望もあった。  
事務局としても実現を図りたい。

以上

## 静岡県駐車協会 役員名簿

令和7年6月26日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	稲葉一匡	静岡委託商事有限会社
副会長	望月佐和子	静岡委託商事有限会社
監事	戸塚直子	公益財団法人静岡市まちづくり公社

## □各地駐車協会総会報告□

## 名古屋駐車協会 第61回定時総会

## 1. 日時

令和7年6月4日(水) 午後5時より

## 2. 場所

名古屋市中村区名駅一丁目2番4号  
名鉄グランドホテル11階「柏の間」

## 3. 出席者

出席17社、委任状11社、合計28社  
(正会員数 29社)

## 4. 議事

第1号議案 2024年度事業報告承認の件

○2024年度 事業報告

## (1)調査活動

会員調査(2024年7月1日現在)

会員名簿(氏名、住所、駐車料金)の確認

正会員 30社31駐車場、賛助会員 14社

## (2)秋季研修会

日時 2024年11月13日(水)

研修先 豊橋PA事前予約駐車場

参加者 16社23名

## (3)講演会

日時 2024年12月12日(木)

14時～16時30分

場所 名古屋市中村区名駅3丁目25-3  
イオンコンパス桜通口会議室

研修内容

第1部：「自動車の高度化・自動化における今後の駐車場について」

講師：トヨタ自動車株式会社

モビリティアプリ開発部 モビリティアプリ基盤開発室

主幹 岡村 竜路 様

第2部：「駐車場火災における特性と今後の課題」

講師：名古屋市消防局予防部予防課

消防司令 鶴飼 圭一 様

第3部：「駐車管理クラウドシステム「CREPE」について」

～ちょっとミライの駐車場への第一歩として～

講師：三菱地所パークス株式会社 執行

役員コンサルティング部長

兼施設営業推進部CREPE営業推進室長 増田 高明 様

ご来賓 名古屋市住宅都市局交通企画課

主査 岡野 公彦 様

参加者 22社42名

第2号議案 2024年度収支決算承認の件

第3号議案 2025年度事業計画承認の件

○2025年度 事業計画について

1. 会員駐車場の利用促進に有効な諸施策が講じられるよう、各機関の主催する協議会、委員会等に積極的に参加するとともに、必要な関係機関に要請を行なう。
2. 交通サービスが大きな変革を迎えようとしているため、様々な団体と情報交換を行い、新しい駐車場の在り方を研究する。
3. 新しい駐車場案内システムの仕組みを構築するため、関係機関と連絡を

- 密にし、検討作業を進める。
4. 会員各社の参考に資するため、会員駐車場の実態調査を行う。
  5. 規約第4条の事業目的達成のため、研修および懇親会を開催する。
  6. 協会未加入の駐車場および関係者の加入を勧奨し、協会組織の拡大と充実強化を図る。
  7. 総会及び理事会を開催し、必要に応じて常任理事会を開催する。

2. 研修会および懇親会
  - ・2025年6月4日(水) 総会懇親会
  - ・2025年11月上旬 秋季研修会
  - ・2025年12月中旬 講演会
  - ・2026年1月上旬 新年懇親会

○2025年度事業活動(案)

1. 理事会
  - ・2025年4月22日(火) 第1回理事会
  - ・2025年6月4日(水) 臨時理事会
  - ・2025年9月中旬 第2回理事会

3. 調査活動
  - ・2025年7月 2025年度会員調査(会員名簿の確認)
4. 関係官庁の推進する施策への協力
5. 全日本駐車協会会合等への参加
  - 第4号議案 2025年度収支予算承認の件
 上記4議案が上程され、原案通り承認、可決された。
5. 総会後の懇親会
  - 総会終了後、同会場にて
  - 参加人数 40名

以上

## 名古屋駐車協会 役員名簿

令和7年6月4日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	依田 耕治	株式会社エスカ
副会長	春田 亮介	株式会社東海放送会館
〃	塩谷 剛史	株式会社エンゼルパーク
〃	古橋 明	株式会社ユニモール
〃	伊藤 貴宣	株式会社セントラルパーク
常任理事	高山 直明	公益財団法人 名古屋まちづくり公社
〃	富田 恭次	中部日本ビルディング株式会社
〃	大竹 敬一	株式会社大竹製作所
〃	茅野 静仁	三菱地所株式会社 中部支店
〃	堀内 隆史	堀内不動産株式会社
〃	安達 昌宏	株式会社エスカ
理事	安藤 東元	中央市場総合食品センター株式会社
〃	稲葉 尚子	株式会社シグナル
監事	矢野 克典	若宮大通駐車場株式会社
〃	石田 裕也	株式会社C B Cビップス

※春田亮介副会長は6月25日付で祖父江茂樹副会長に交代

□各地駐車協会総会報告□

## 兵庫県駐車場協会連合会 第60回定期総会報告

- 1 第60回定期総会の開催
  - 日時 令和7年5月30日(金)
  - 場所 神戸市教育会館 404号会議室
  - 会員数 13協会出席 1協会委任状提出
- 2 議案
  - (1)審議事項
    - 第1号議案 令和6年度事業報告について
    - 第2号議案 令和6年度収支決算報告について
    - 第3号議案 令和7年度事業計画(案)について
    - 第4号議案 令和7年度収支予算(案)について
    - 第5号議案 令和7年度会費割当(案)について
    - 第6号議案 兵庫県駐車場協会連合会会則の改正について
    - 第7号議案 役員の改選等について
  - 第1号議案から第7号議案まで全会一致、承認可決。
  - (2)その他
    - 長田・兵庫協会の運営状況説明
- 3 事業関係
  - (1)兵庫県駐車場協会機関誌「パーキングニュース」の発行
    - 「パーキングニュース」第213号(令和6年12月発行)
    - ・「私有地に無断放置された場合の対処方法について」
    - ・「各地の駐車場賃料の比較一覧表」
  - (2)駐車場経営セミナーの開催
    - 日時 令和7年1月31日
    - 場所 神戸市教育会館
    - 内容 「月極駐車場経営の問題解決！10年先を見据えた経営の課題と対策」と題して講演が行われた。
  - 4 各種安全運動への取組み
    - 春、夏、秋、年末のそれぞれの運動において、実施要綱等を配布。
  - 5 会議関係
    - ひょうご地域安全まちづくり推進協議会などに出席参加。

以上

## 兵庫県駐車場協会連合会 役員名簿

令和7年5月30日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	宮浦 栄太郎	宮浦商事株式会社
副会長	藤岡 義己	株式会社イーエスプランニング
〃	宮崎 教嘉	株式会社宮崎牧場
理事	堂内 克孝	有限会社平興産
〃	森本 泰暢	三宮ビル管理株式会社
〃	岡本 良文	岡本材木店株式会社
〃	藤田 和昭	株式会社ゴヘイ
〃	吉本 良秀	J A兵庫六甲資産管理事業部
〃	木戸 晃洋	株式会社スター商会
〃	前北 隆幸	有限会社マエキタ不動産
〃	山中 寛	山中パートナーズ株式会社
〃	林田 治彦	株式会社明城
〃	中田 吉和	農業
専務理事	植波 博文	一般社団法人兵庫県自家用自動車協会連合会
常務理事	阿部 雅行	一般社団法人兵庫県自家用自動車協会連合会
監事	江藤 和夫	綱敷天満神社
〃	近澤 撃	税理士

## □各地駐車協会総会報告□

## 福岡駐車協会 第67回定例総会

- |  |   |
|--|---|
| <p>1. 日 時：令和7年5月28日(水)<br/>午後4時30分より午後5時30分</p> <p>2. 場 所：福岡市中央区天神1丁目<br/>ソラリア西鉄ホテル 8階「月」</p> <p>3. 出席人員：議決票人員<br/>本人出席 24名<br/>委任状 0名<br/>欠 席 10名<br/>計 34名<br/>会員 正会員 25名 賛助会員 9名<br/>計 34名</p> <p>4. 議 事<br/>議 案<br/>第1号議案 役員を選任<br/>第2号議案 令和6年度事業概況報告承認<br/>の件<br/>第3号議案 令和6年度収支決算報告承認<br/>の件<br/>第4号議案 令和7年度事業計画審議承認<br/>の件<br/>第5号議案 令和7年度収支予算審議承認<br/>の件</p> <p>[令和6年度事業概況報告]<br/>(1)「福岡駐車協会主催」総会・理事会・教育<br/>研修会・懇親会活動<br/>福岡駐車協会「第66回 定例総会」<br/>福岡駐車協会「役員会」<br/>福岡駐車協会「教育研修会」<br/>(2)「全日本・東京駐車協会主催」総会・理事</p> | <p>会・事務局長会議及び研修会・懇親会活動<br/>第63回通常総会<br/>第1回理事会<br/>第2回理事会<br/>第3回理事会<br/>令和6年度事務局長会議<br/>第63回通常総会後の研修会<br/>令和6年度事務局長会議研修会<br/>令和6年秋季駐車場研修会<br/>令和7年新春駐車場研修会<br/>令和7年春季駐車場研修会<br/>企画委員会<br/>総務委員会<br/>(3)政策・業界関連活動<br/>令和6年福岡県飲酒運転撲滅連絡会議<br/>第40回福岡県交通安全県民大会<br/>令和6年度福岡県飲酒運転撲滅県民大会<br/>福岡県自動車盗難等防止対策協議会<br/>(4)広告活動<br/>全日本駐車協会機関紙「PARKING」に広<br/>告掲載</p> <p>[令和7年度事業計画]<br/>(1)福岡県・福岡市・福岡県警の関係官庁と継<br/>続的な情報交換を行い、行政側の交通政策<br/>における駐車対策に対し、福岡駐車協会の<br/>駐車場実情を反映したものになるよう意見<br/>具申する。<br/>(2)福岡県飲酒運転撲滅連絡会議へ協議委員と<br/>して参画、飲酒運転撲滅ポスターを掲示し、</p> |
|--|---|

飲酒運転の意識啓発を図る。

- (3)福岡県自動車盗難等防止対策協議会への参画、「自動車盗難実績調査」結果を会員に提供し、情報・知識の共有化を図る。警察本部・管轄署と定期的に情報交換を行う。自動車盗難防止ポスター掲示、意識啓発を図る。
- (4)駐車協会加入による会員メリットを理解してもらい会員の拡充を図る。
- (5)全日本駐車協会との連絡を密にし、国の駐車場政策の情報等を迅速に把握することに努める。全日本駐車協会企画の研修会・講習会・見学会等に参加協力、会員相互の情報交換・交流を図る。

以上

## 福岡駐車協会 役員名簿

令和7年5月28日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	戸 嶋 和 夫	中央地所株式会社
副 会 長	内 田 秀 人	株式会社八百治
理 事	渡 邊 與 之	紙与産業株式会社
〃	高 松 健 司	西鉄ビルマネージメント株式会社
〃	新 開 久 子	大石ゴム株式会社
〃	半 田 邦 子	株式会社サンマルサン
監 事	古 江 寿 則	福岡商事株式会社
〃	林 舜 人	林英株式会社

# 駐車場コラム

## ■「街を支える物流と駐車問題」

東京海洋大学 名誉教授 苦瀬 博仁

物流における人手不足が「物流2024年問題」として取り上げられ、普通郵便は翌々日配達になり、ネット通販での当日配送はなくなっている。このように物流では大きな変化が起きているが、貨物車の駐車・荷さばきに関しては、西欧諸国に比較して遅れているように感じている。

ロンドン市内の幹線道路にレッドルートという駐停車禁止道路があるが、一部に「荷さばき車両20分停車可、車イスの方は3時間まで駐車可」という区間がある。「乗用車に乗る健常者は遠くに駐車して歩いてもらい、移動困難な人や貨物を優先したい」という趣旨なのだろう。これらは、ロジスティクスを重視する西洋の思想が反映されている証でもある(写真、参照)。



駐停車禁止道路と荷さばき許可

わが国でも、貨物車の駐車対策では少しずつ変化が起きている。特に令和7年(2025)3月には駐車場法が改正され、集合住宅(マンションなど)でも貨物車の駐車に配慮するようになり、路上の貨物車用駐車区画も少しずつ増えている。しかし、まだ課題はあるように思う。

都市における貨物車の駐車対策

高層ビル (オフィス、タワー・マンション)	中心市街地 (中心商業地区、商店街)	住宅市街地 (戸建て住宅、集合住宅)
<b>ハード対策 (施設整備)</b> ①貨物車通道の諸元確保 ②駐車場所の確保 ③荷おろし仕分け場確保 ④通路・エレベータ確保 ⑤搬送機器の導入	<b>ハード対策 (施設整備)</b> ①路上駐車場所の確保 ②道路の段差解消 ③貨物置き場所の確保	<b>ハード対策 (施設整備)</b> ①駐車場所の確保 (戸建ては、路上) (集合住宅は、路外) ②円滑な搬入経路確保 ③宅配ボックス設置
<b>ソフト対策 (規制誘導)</b> ①駐車場所の予約制度 ②搬入荷さばきの予約 ③館内共同配送 (縦持ち搬送の共同化)	<b>ソフト対策 (規制誘導)</b> ①荷さばき許可街路 (ローディングゾーン) ②荷さばき時間帯許可 (ローディングタイム) ③一括納品	<b>ソフト対策 (規制誘導)</b> ①荷さばき許可街路 (ローディングゾーン) ②貨物車進入時間規制 (スクールゾーン) ③荷さばき時間帯許可

そこで本稿では、「街を支える物流と駐車問題」という視点から、都市のなかの3つの地区(高層ビル、中心市街地、住宅市街地)の課題について考えてみる(表、参照)。

第1の課題は、高層ビルの貨物車駐車問題である。大都市の高層ビルを調べてみると、一日に数百台の貨物車がやってくる。これは、関東一円に冷凍食品を配送する物流センターの一日の貨物車発着台数(150台前後)に比較しても大きい。しかし、オフィスや店舗のある高層ビルの方が、物流センターよりも貨物車の発着台数は多い事実は、あまり知られていない。また残念なことに、駐車場の高さ制限などで貨物車の入れないビル、駐車しても狭くて荷おろしのためのドアを開けられない駐車区画、階段だらけで台車を使えない建物も多い。国交省では「物流を考慮した建築物の設計・運用について、～大規模建築物に係る物流の円滑化の手引き～」を2017年3月に公表したが、このガイ

ドラインが活用されているとは言いにくい。

高層ビルに関するハード対策には、①貨物車通路の諸元確保、②駐車場所の確保、③荷おろし仕分け場確保、④通路・エレベータ確保、⑤搬送機器の導入などがある。ソフト対策には、①駐車場所の予約システム、②搬入荷さばき時刻の予約システム、③館内共同配送(縦持ち搬送の共同化)などがある。特に館内共同配送は、多くの物流業者が届けに来る貨物や荷物を、特定の業者が荷さばき場で一括して引き受けてから、高層ビルの各フロアーに届けるものである。これにより、物流業者は高層階まで運ぶ時間と手間を省くことができ、テナントは顔見知りの業者だけがオフィスに来るので安心感を持って、ビルとしてはセキュリティの強化につながる。このような工夫を、都市計画や建築計画のなかで取り入れる必要がある。

第2の課題は、中心市街地の貨物車駐車問題である。多くの都市の中心市街地では、賑わいを求めてウォーカブルな街づくりを目指している。もちろん、「人が集まれば、街は賑わう」とともに、「人が集まれば、商品や飲食料品も集まる」。逆に、「商品も飲食料品も集まらない街には、魅力も少ない」だろう。加えて買い物や食事の後は、「手ぶらでウォーカブル」を楽しみたい。しかし、商店街のように店舗が並ぶ街に、駐車施設を設けることは至難の業なので、高層ビルとは異なる駐車対策が必要になる。

中心市街地に関するハード対策には、①路上駐車場所の確保、②道路の段差解消、③貨物置き場所の確保などがある。ソフト対策には、①荷さばき許可街路、(ローディングゾーン)、②荷さばき時間帯許可(ローディングタイム)、③一括納品などがある。これらは、都市計画や交通計画だけでなく、商取引の改善も重要になる。

第3の課題は、住宅市街地の貨物車駐車問題である。以前の住宅市街地では、週に何回か乗用車でスーパーに買い物に出かけていたため、引越し以外で貨物車が来ることが少なかった。このため、住民の乗用車の保管場所さえあれば駐車問題は起きなかった。しかし、近年のネット通販や宅配便の普及により、書店に出かけず本を届けてもらう生活や、買い物に行かずに商品を配送してもらう生活が定着しつつある。これにより、住宅市街地の駐車問題も、「住民の乗用車の保管場所対策」から「配送用の貨物車の路上駐車対策」へと変化している。

住宅市街地に関するハード対策には、①駐車場所の確保(戸建ては路上、集合住宅は路外)、②円滑な搬入経路確保、③宅配ボックス設置などがある。ソフト対策には、①荷さばき許可街路(ローディングゾーン)、②貨物車進入時間規制(スクールゾーン)、③荷さばき時間帯許可(ローディングタイム)などがある。

3つの課題に共通している点は、2つある。1点目は、買い物をはじめ人々の行動様式が大きく変化しているにもかかわらず、従来からの乗用車の駐車問題に気をとられて、貨物車の駐車問題にまで手が回らないことである。2点目は、物流を引き起こす商取引において、顧客や配送先のニーズ最優先の考え方が限界にきているにもかかわらず、一部(翌々日配達、即日配送廃止など)を除いて、サービスレベルの変更はまだ至っていないことである。

しかし、いまや時代は変わり、「交通や駐車問題において、人(乗用車)と物(貨物車)のバランスをとること」と「商取引や物流のサービスにおいて、何を優先し何を我慢するか選択する

こと」が重要になっている。

特に都市計画や交通計画においては、「働き楽しむ高層ビル」でも、「賑わいを優先するウォークアブルな中心市街地」でも、「住民の生活を支える住宅市街地」でも、高級な家で玄関と勝手口を使い分けるように、「空間のないし時間的に、人と物との活動や動線を区別すること」は当然のことになるだろう。これらを通じて、人々の日常生活を支える貨物車が、人目に触れずに安全に駐車でき、円滑に商品や物資を届けられることを願っている。

#### 参考文献

- 1) 苦瀬・鈴木編、『物流と都市地域計画』、大成出版社、2020年
- 2) 東京都市圏物資流動調査(2023年実施) <https://www.tokyo-pt.jp/pd/02>

## 情報発信「アンテナ」(第24回)

### 「カメラ式駐車場管理システム」の次のステージ

ピットデザイン株式会社

代表取締役会長CEO 池末浩規

#### 1. 3年半前を振り返って

2022年1月発行のPARKING第237号の「アンテナ」第10回で「『カメラ式ゲートレス駐車場管理システム』の現状と今後の展望」を書いてから3年半。その当時は当社開発の『スマートパーク』以外は市場に広がっておらず、一から開発の背景やシステムが稼働するしくみを説明する必要がありました。また、①入出庫時など運転中に駐車場管理機器との接触がないことによる「ご利用者様の利便性」や「入出庫渋滞の解消」、②高いナンバー認識率での管理であることによる「管理の簡便さ」、「窃盗の減少」、「高い環境性能」、③ITシステムであることによる「データ活用の可能性」や「他のシステムとの連携」などについてもかなりのスペースを割いてご紹介しました。

また、システムの課題として、①性善説の課題～未精算率の制御、②ナンバー認識率の向上、の2つを取り上げました。①の未精算率の制御においては、多少の未精算があっても受ければペイする、などの悪しき経済合理性に基づいた「割り切った」運営ではなく、しっかりと未精算をなくしていくしくみを追求すべきである、という話をし、②のナンバー認識率でも、車両特定の基本として機能するためには、チケット式の「プラスアルファ」ではない、限りなく100%に近い認識率を追求すべきという議論をしてきました。

3年半の月日を経て、ゲートやロック板のないカメラ式の駐車場システムは、駐車場管理システムの主流になりつつあります。特に大型の商業施設ではカメラ式が入札条件となるのが当たり前になり、出口精算機にこだわっていた公共施設でも、入出庫のスムーズなカメラ式で良しとする、という動きが加速しています。

さらには、カメラ式駐車場システムの拡大を受けて、社員用駐車場や入退構管理、物流管理など有料駐車場以外の分野でもナンバー認識で車両を管理したいというニーズが広がってきています。ただ本稿では紙面の関係もあり、有料駐車場に限定して、「その後の動き」を①商業施設などのハイエンド市場での機能向上と、②時間貸しなどローエンド市場での新規参入増加と乗り逃げ対策、の二分野についてご紹介します。



## 2. その後の動き①～商業施設などのハイエンド市場での機能向上

大規模な駐車場で広がっているゲートレス型カメラ式駐車場管理システムは、非常に精度の高い運用を求められるため、対応できる会社が限られており、ナンバー認識率の向上や、他のシステムとの連携などを通じた機能向上でしのぎを削っている状況です。本稿では、主な機能向上の内、「ナンバー認識率向上の追求」、「機械式駐車場との連携」の2つについてご紹介します。

### 【ナンバー認識率の向上】

駐車場管理において、車両の駐車状態の確実な把握はその第一歩であり、かつてはフラップ式に見られるような「ループコイル」による在車管理、ゲートと「駐車券」を使った駐車時間管理が主流でした。これらはどちらも100%に近い車両管理ができ、駐車場運営会社視点では、大変に信頼性の高いシステムと考えられています。ただ、これらのシステムは、利用者視点では車両や駐車場管理機器を傷つけるリスクがあり、そのため運転に緊張を強いること。一方で現実には捕捉率は100%ではなく、乗り逃げを防止するしくみとしては不完全であり、悪意と知識のある利用者であれば比較的容易に逃避ができることが問題でした。すなわち、性悪説に基づいて利用者全員に負担を強いるしくみでありながら、実際にはゲート式で0.7～0.8%、フラップ式で0.5～1%程度の乗り逃げが発生していました。

カメラで車両のナンバープレートを撮影し、AIで読み取って、そのナンバー情報を元に駐車料金の管理をおこなうという手法は、海外では一足先に一般化しています。特に中国、韓国やEU諸国等では、ナンバープレートをカメラで読み取る方法が社会インフラとして成立しています。すなわち、ナンバープレートの規格自体をカメラによるナンバー読み取りに適するようなものに統一し、ナンバープレートへの装飾物なども禁止し、読み取りに支障のあるような状態にすることに対して罰金を課すようなことまでしています。

これらの国におけるナンバー読み取りシステムの認識率はハイエンドのものでも公称で99～99.9%ですが、ナンバーが読める状態に保っていないことがドライバーの責任とされることから、ナンバー認識の失敗に対するクレームは起こりにくくなっています。結果的に100%に近いナンバー認識率となっており、駐車場運営に支障をきたすことは少ないようです。

翻って、日本の状況を見ると、ナンバープレートは世界的にも旧式の複数列表記であり、プレート枠が許されていたり、ナンバープレート設置方法のルールが徹底されていなかったり、コントラストなど表示品質の確保が難しい字光式があったり、あまつさえ公共側がナンバープレート内に絵柄を増やしていくなど、ナンバープレートのカメラでの読み取りを車両特定のための社会インフラとして利用するという発想に乏しい状況です。

このような背景から、日本では、ナンバープレート情報のみでの駐車場管理は非常に困難であり、フラップレスシステムとして車室番号で車両特定しつつ、ナンバー認識で乗り逃げを抑制するというしくみからカメラ式が始まってきました。

ナンバープレート情報のみで車両の管理をするシステムは、2015年12月、当社ピットデザイ

ンの『スマートパーク』が国内で初めてリリースされました。ご利用者様の利便性と出庫渋滞の解消のため出口にゲートがない仕様ですので、ナンバー認識率が低いと乗り逃げ対策ができず運用の難しいシステムです。

ゲートレス型カメラ式駐車場管理システムでは、ナンバー情報と車両写真以外での車両特定手段がないため、ナンバー認識率の重要度は高くなります。特に日本のようにナンバープレートを「飾る」ことが車両所有者の自由とされ、規制がゆるい地域においては、中韓欧以上に高いナンバー認識率が求められています。

一方、フラップレス型カメラ式駐車場管理システムでは、しくみ上、入出庫が捕捉できていれば車室番号精算という逃げがあり、ナンバー認識が低めでも成立しやすくなっています。ただしナンバーが認識されていないことが明確であると、それが乗り逃げへの誘惑となることも考えられるため、注意が必要です。

以前は国内のナンバー認識システムは公称で95～97%とされ、実環境では85～96%のものが主流でした。そのため、フラップレス型での運用は考えられるものの、ゲートレス型カメラ式駐車場運営システムは難しいという状況でした。しかし、これがここ数年でかなり変わってきています。

当社の『スマートパーク』は早い時期から実環境でのナンバー認識率99.99%以上を達成してきましたが、最近では他にも99.99%としている駐車場運用会社もでてきています。ナンバー認識エンジンをリリースしているメーカーやAIハウスでナンバー認識率を公開しているところに限ってみても、ほぼ業界標準となっているエンジンで99.5%となっており、最も高いところは99.9%になっています。

ただ、ナンバー認識率を比べるときに気をつけたいのは、まず、それが「実験環境」、つまり管理された光源のもとでカメラ画角の中央付近を管理された速度で走る車両を撮影し、カメラレンズの汚れやカメラと車両の間に雨粒があるようなこともない、理想的な状態での数字なのか、屋内だけでなく屋外も含み、潮風を受ける場合、西日等の影響がある場合、設置後時間が経ってカメラレンズが微妙に汚れている状態など様々な設置環境の要素による変動を考慮した「実環境」でのものなのかという違いです。また、「対象外」とされるナンバープレートの種類や気候条件などもシステムによって違います。そういう意味では単に表示されている数字でナンバー認識エンジンの性能を直接比較するには注意が必要であることは困難な場合があるのが実情です。ナンバー認識率を比較する際は、それが「実験環境」なのか「実環境」なのか、また何を「対象外」としているかの確認が必要です。

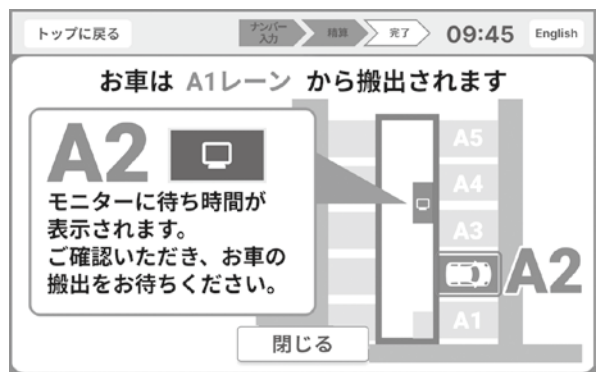
ナンバー認識率を日本の社会に合わせた99.99%またはそれ以上に上げる、というアプローチ以外に、ナンバー認識に失敗した場合に限って駐車券を発券し、出口精算機も設置する、というソリューションも存在します。これは乗り逃げ抑止に焦点を当てた場合には優れたシステムとの評価もありますが、ナンバー認識率が十分に高くない状況でのソリューションであるため、入口と出口でのナンバー認識の不整合の際の問題が発生する、ご利用者様にとって煩雑である、そもそもゲートレス型カメラ式駐車場管理システムの利点であった入出庫渋滞の解消が

見込めないなどの課題があり、実際にはナンバー認識機能+事前精算機付きゲート式駐車場管理システムの延長と見るべきかもしれません。

### 【機械式駐車場との連携】

カメラ式駐車場管理システムはこれまでフラップ式の代替、ゲート式の代替としてのソリューションとして広がってきています。しかしながら機械式駐車場との連携は困難とされ、ゲート式駐車場システムの駐車券を共通の車両特定ツールとして使い、駐車券で機械式駐車場の駐車パレットの指定をする方式が一般的でした。一旦紐づけが行われていれば、駐車場側の精算機での精算完了情報を元に、機械式駐車場機器に対して出庫指令を連動させるようなことが可能であり、出庫時には係員の操作が簡素化されるソリューションも提供されています。

今年に入って、東京スカイツリーの商業施設であるソラマチの駐車場で、カメラ式駐車場システムと機械式駐車場機器が完全連携するというしくみがリリースされました。これは当社の『スマートパーク』と日本コンベヤ様の平面往復方式（リフト付き）立体駐車装置「NHX」を連携させたものです。駐車場料金計算のための入庫カメラに加え、機械式駐車場機器入庫の際に再度ナンバー認識を行い、



東京スカイツリー 出庫ブースの表示された精算機画面(イメージ)

ナンバープレート情報と機械のパレット情報を自動で連携させるため、入庫時の連携操作が不要になりました。出庫時も出庫エリア内の精算機で精算が完了すると、自動的に機械式駐車機器へ指令が飛んで、係員の操作なしに出庫操作がされるという仕様です。機械式駐車場機器では安全確保のために係員の常駐が必要であり、特に複数の入出庫ベイを持つ大型の施設では、係員の作業項目の削減が大命題でしたが、このカメラ式～機械式連動により、大変スマートな方法での問題解決ができてきています。

さらには、駐車券で機械式駐車場の管理をしている場合によくある次のような問題が解決しました。

- 駐車券を紛失すると車両の特定が非常に困難で、ご利用者様に車両の特徴を聞いて、入庫車両一覧の画像から検索する必要がありました。しかしカメラ式連動だと駐車券の紛失によるトラブルがなくなりました。
- 駐車券管理の際は、出庫操作盤で出庫操作を行うと、待機所にあるモニターに駐車券番号と出庫までの時間が表示されます。しかし駐車券番号を意識できていないご利用者も多く、そのような場合は車両が出庫されていることに気づかず、係員がそれに気づいて案内する必要がありました。カメラ連動式では、自車のナンバープレート情報が表示されるため、出庫に気付かない、ということがなくなっています。



東京スカイツリー 立体駐車場での  
出庫案内モニター(イメージ)



東京スカイツリー 立体駐車場での  
出庫案内モニター(実写)

カメラ式駐車場管理システムの機械式駐車機器との自動連動の実現により、ご利用者様と駐車場係員双方にとって操作の利便性が大きく改善しているほか、操作時間や乗車待ち時間が短縮されることにより、駐車場入庫時、出庫時両方での待ち時間が短縮され、それに伴って駐車場の回転率も改善するなど、これまで機械式駐車場機器でのお悩みを一気に軽減することにつながっています。また、機械式駐車場に対応したことにより、自走式と機械式の混在している大規模な施設において、カメラ式駐車場システム一本で整合性のある車両管理やサービス付与が可能になり、カメラ式駐車場で管理をしたい、という流れに対しても大きな後押しとなっています。

### 3. その後の動き②～時間貸しなどローエンド市場での新規参入増加と乗り逃げ対策

大規模駐車場を中心としたゲートレス型のカメラ式駐車場システムが、高精度、高機能によりご利用者様と管理側の手間を圧倒的に減らし、入出庫渋滞の緩和や防犯機能などを含めた高いレベルでの競争をしているのに対し、フラップレス型のカメラ式駐車場システムは、設置物の少なさによるローコストソリューションとして全く別の広がりを見せています。

以下で、特に時間貸し駐車場でのカメラ式システムの広がり、それに伴う乗り逃げ問題についてご紹介します。

#### 【フラップレスを中心とした新規参入の増加】

日本国内でのカメラ式駐車場管理システムは、入出庫管理と駐車料金精算は各車室に埋設したループコイルでおこなうというフラップ式と共通仕様ながら、フラップ板を廃して、代わりに各車室の後方にカメラと駐車状況表示板とスピーカーの付いたポールを設置することで乗り逃げを牽制するというアイテック社の「ロックレス」から始まりました。このシステムの導入はフラップというトラブルの元になりやすい機器を廃止しつつ、乗り逃げ車両の特定ができるというシステムでした。物理的な拘束装置なしでも乗り逃げが制御できるのか、という疑問に対して、このシステムが一定の効果を上げたことで、国内で一気にフラップレスの動きが起ったという意味でも大変に画期的なことでした。

このシステムはナンバー認識率について公表をしていませんでしたが(注：パークシャー社

傘下になって、最近は認識率100%を標榜するようになっていきます。)、高い比率でナンバー認識をする、本物のカメラ式駐車場管理システムです。

一方で、これと前後して、フラップレスでの管理はループコイルで行うところまでは同じものの、乗り逃げ抑止はナンバー認識機能を持たない防犯カメラで行うという、「なんちゃってカメラ式」が多くリリースされました。カメラ撮影はしているので、乗り逃げ車両の利用車室番号と利用日時からビデオ録画を辿って車両を探すことは可能ですが、非常に手間がかかり、ビデオ録画期間の制限もあって、乗り逃げ車両の完全リストを作ることは現実的ではないため、実際には乗り逃げ牽制の役割しかないようなものでした。酷いものではダミーカメラを設置して、安価なシステムであることをアピールするようなものもあったようです。当社でもフラップレスのニーズに答えるために当初防犯カメラ型の『クイックパーク』をリリースしましたが、その後技術開発により現地での設置物は増やさずに、クラウドで99.99%以上の精度でナンバー認識をする『スマートパークライト』をリリースした経緯がありました。

これに対して、数年前から、1台のカメラで3車室程度を監視して、このカメラで入出庫管理とナンバー認識を行い、ナンバープレートの4桁または車室番号で精算できる、という新たなフラップレス型カメラ式駐車場システムが次々とリリースされてきています。

これらのシステムをリリースしている会社の多くは新規参入であり、ナンバー認識システムと入出庫管理・料金計算システム、決済システムを組み合わせたITソリューションとしてのカメラ式駐車場管理システムを提供しているものです。

ナンバー認識システムは中国や韓国など海外にナンバー認識システムを提供する会社が多数あり、それらから導入することが容易になっており、また独自開発でも実験環境下では高い認識率を達成することの可能なエンジンが作りやすくなっています。また、入出庫管理・料金計算システムはシンプルなものであれば開発は容易であり、決済システムもフィンテックの広がりにより多くのオプションがある状態です。このような背景から、IT技術的な洗練や、マーケティング力をアピールする形での新規参入が増えています。

しかしながら、これまでの当社の独自調査や導入した駐車場管理会社への聞き取りによると、実質のナンバー認識率は十分に高いとは言えないものが多くあるようです。元々ナンバーがカメラ読み取りを前提としたフォーマットになっており、かつナンバープレートを読み取り可能な状態に保つことが求められている海外でのナンバー認識エンジンと、ナンバープレートのフォーマット、装飾、取り付け状態などによってナンバー認識難度が非常に高い日本の現実との間には大きな差があるのが実態です。実はこれまでも海外で主要空港にシステムを導入してきているような駐車場管理システム企業が日本への参入を図った際も、ナンバー認識のハードルが越えられずに撤退した歴史があります。

日本の駐車場の現実、実際のナンバープレートの状況や、駐車場利用者のメンタリティなどを十分理解してシステムの改善を図っている既存のメーカーとの間では、まだ大きな技術力の隔たりが存在します。それでも、安価なシステムを求めて、時間貸しソリューションを中心に多くのシステムが導入されているという事実があり、このことが次の乗り逃げ問題の悪化につ

ながっています。

### 【乗り逃げ問題】

本稿でも認識率向上のパートで書いているように、乗り逃げは駐車場管理における最大の課題です。実態としてはゲート式で0.7～0.8%、フラップ式で0.5～1%程度の乗り逃げが発生していたのに対して、カメラ式システムでは、ナンバー認識率の向上と適切な乗り逃げ対策オペレーションの積み重ねにより、フラップレスで0.1～0.4%程度、ゲートレスでは0.01～0.2%まで乗り逃げ率を抑え込んできています。

スマートパーク 乗り逃げ率 (台数) ※当社実績		
<b>スマートパーク 乗り逃げ率</b> (台数)	<b>ゲート機 乗り逃げ率</b> (台数)	<b>ロック板 乗り逃げ率</b> (台数)
4条件が揃った場合 (※1)	<b>0.7%～0.8%</b>	<b>0.5%</b>
5条件が揃った場合 (※2)	<small>出典：2012年10月30日 日経産業新聞「貸し駐車場IT化で進化」</small>	<small>※当社実績</small>
<b>0.2%</b> (時間貸しの場合は0.1%)		
<b>0.01%</b> (時間貸しの場合不明)		
<small>(※1) ①99.99%以上のナンバー認識率 ②十分な告知 ③定期的な取締り ④利用者全員の精算操作 を実施した場合の出庫率です。 (※2) ①99.99%以上のナンバー認識率 ②十分な告知 ③定期的な取締り ④利用者全員の精算操作 ⑤未払い共有化 を実施した場合の出庫率です。</small>		

しかし、新規参入のフラップレス型カメラ式駐車場システムでは、実環境でのナンバー認識率が十分でないことや、乗り逃げ対策の不備などもあるせいも、4%や10%、さらには10%を超える乗り逃げが発生しているような事例が聞かれるようになってきています。導入する側としては、カメラ式でもフラップ式と同等以下の乗り逃げ率が達成されているとの話をもとに、価格の安さもあり、多少乗り逃げ率が上がっても駐車場運営の視点からはペイする、という計算があつての導入でしたが、現実には想定外の乗り逃げ率が発生しており、またそれが上昇傾向にあるということから、一部では不安が広がっているのが現状です。

フラップレス型カメラ式駐車場では、乗り逃げをしても追いかけることはないのではないか、という認識が広がることは、駐車場運営会社にとって由々しき事態であるだけでなく、利用者に不法行為を行わせる誘惑をしているという意味で、社会的にも容認しがたいことであり、駐車場に関わる全ての関係者が憂慮すべき状況であると考えます。

特に現行法制度上「利益窃盗」という罪状が存在しない日本においては、駐車場料金を支払わないことは民法上の不法行為に当たるものの、刑法上は罪名がつかない、という大問題があります。極端に悪質な乗り逃げ常習者については、駐車場運営自体を妨害した、という法理により威力業務妨害罪を適用するという手法はあるものの、実際に適用できるシーンは限られています。見せしめ的な逮捕について警察の協力が得られることはありますが、通常の乗り逃げについては駐車場運営会社がそれぞれ独自に対応策を考えざるを得ないというのが実情です。

**【乗り逃げ包囲ネットワークの形成】**

このような状況に対して、日本パーキングビジネス協会は、昨年11月に福岡県警と『防犯カメラの設置促進を始めた安全・安心に関する協定』を締結し、「防犯カメラの設置促進を始めた犯罪の未然防止のための取組」と「飲酒運転や交通事故を抑止するための取組」を軸に、飲酒運転、不正利用、車上荒らしが起きにくい駐車場作りを目指す取り組みを始めました。

警察との連携で駐車場の安心安全を確保する取り組みは非常に画期的なものです。乗り逃げへの対応については警察としても対応できる範囲は限られていることには変わりはなく、乗り逃げ抑止の決め手にはなりにくいのが悩みのようです。

こうした中、新たな乗り逃げ抑止の方法も模索が始まっています。当社の『スマートパーク』においては、出口ゲートを設置せず駐車料金が未払い状態であっても出庫が可能です。もし駐車料金未払い状態で出庫した場合は、次回入庫時にその時の駐車料金と合わせて過去の未払い料金について表示・請求を行います。うっかり未払いの場合でも改めて支払い機会を提供するとともに、未払い料金は常に記録されていていずれは請求される、ということを示すことで、そもそも最初からきちんと精算、支払いをしていただく、というお互いにとって気持ちの良い状況を作り出すことが目的で、これが乗り逃げ率0.2%の原動力の一つとなっています。

さらに一昨年より、『スマートパーク』駐車場での未払い駐車料金情報を他の『スマートパーク』駐車場と共有する「未払い共有」システムをリリースし、このネットワーク内の駐車場での未払い料金は全て表示・請求するしくみを作りました。このシステムにより、未払い率は0.2%から0.01%まで下がっています。また、うっかり未払いについて連絡いただいた利用者様については、駐車場に戻らなくてもウェブ上で支払いのできる「未払い駐車料金支払いサイト」を立ち上げ、さらに支払い機会を増やしています。このような施策は回収を増やすことが目的ではなく、そもそも未払い＝乗り逃げを根絶する、ということが目的であり、想定以上の効果を上げています。

この「未払い共有」に基づく回収行為が非弁行為とならないためには一定の条件があるため、安全に「未払い共有」ネットワークに入れることのできる駐車場には制限がありますが、非常に強力な乗り逃げ防止対策となっています。

当社では、この夏より『スマートパークライト』についても未払い共有が可能になるほか、時間貸し駐車場での利用を念頭に置いた、フラップレス型カメラ式駐車場管理システム「EZパークネクスト」(精算機なし)「EZパークライト」(精算機あり)をリリースしました。これらのシステムは、メーカーとの共同開発によるAI搭載一体型カメラと当社独自のナンバー認識エンジンを組み合わせた、設置が容



易ながら非常に高いナンバー認識率と可用性を持つシステムを安価に提供できるソリューションです。特にナンバー認識は年間5億回の実環境ナンバープレートデータを持つ当社ならではのAI構築技術が生かされています。この新システムについても、夏より未払い共有ネットワークへの統合が行われます。現在、このシステムを時間貸し駐車場を運営する各駐車場運営会社にご紹介し、運営会社の垣根を超えた大きなネットワークで、実質的に乗り逃げのできない＝乗り逃げ率の非常に低い「乗り逃げ包囲ネットワーク」の実現に向けて奔走しています。

今後当社以外からも類似の未払い共有のしくみが出てきて、業界全体で「カメラ式駐車場は乗り逃げできない」ということが常識になっていくことを期待していますが、まずは未払い共有ネットワークに参加可能な駐車場だけでも既にユニークユーザー4000万台以上が利用している『スマートパーク』を軸にこのようなしくみを構築していくことがもっとも現実的ではないかと考えています。

#### 4. その後の動き③～完全チケットレスへの秒読み

高い利便性、入出庫渋滞解消、実質駐車場キャパ確保、環境性能など高い性能から商業施設等で標準システムとなって来ているゲートレス型カメラ式駐車場管理システム。設置の手軽さや駐車場運営の経済性から選ばれているフラップレス型システム。時代はゲートレス、フラップレスに向かっています。

一方でカメラによるナンバー認識は100%にはなりにくいこと、乗り逃げへの警戒感などから、まだ一部でカメラ式への抵抗感も残っています。以前は特に公共施設で、チケットや出口ゲートがないことについて不適切ではないかとの考えがありました。しかし実際には市役所等を含む公共施設での導入実績から問題がないことが広がり、今では公共施設についてもゲートレスが当たり前になっています。

しかし、例えば大規模空港など入庫台数が多く、高額利用も多い施設では、完全ゲートレス、チケットレスについて、まだ逡巡が見られる状態です。アジアの主要空港ではゲートレスが標準になっているとはいえ、国内ではまだカメラ式が十分な信頼を得ていない状況であると言えるでしょう。ただ、以下の①～④のような事情を考えると、他のシステムとの連携などを通して利便性が高く、セキュリティ向上にも役立つ完全チケットレス(カメラ式)システムが受け入れられる素地はでき上りつつあると考えています。

- ① ナンバー認識率の低さが、代替システムとしての駐車券を必須とする考えにつながっていましたが、実環境でも中韓欧の標準を大きく超える高いナンバー認識率が実現できるようになっており、ナンバー認識に失敗した車両についても十分少ない数であれば入場写真から特定することも現実的になってきたこと。
- ② 有料駐車場でカメラ式システムが増え、また乗り逃げ包囲ネットワークの整備などがあると、ナンバーを読めない状態にすることについて、社会的に許容されないという風潮になって行くことが期待できること。
- ③ さらには駐車場以外でも、企業施設への入退構、流通現場などで、ナンバープレート情

報に基づく車両管理のシステムが続々と導入されており、従業員あるいは取引先としての責任として、ナンバープレートが十分に読める状態に保つことを実質的に強制される場面が増えてきており、ここでもナンバープレートの状態管理が当たり前になってくること。

- ④ ナンバープレートが確実に撮れる環境であれば、必要に応じて車両あるいはドライバーなどの外部情報との紐づけが容易であり、セキュリティの確度が大きく上昇すること。

3年半前には、先端的だが一般的ではなかったカメラ式駐車場管理システムは、今や完全に駐車場管理のスタンダードになりつつあります。また、確実にナンバーを捉えるべく磨かれてきたナンバー認識システムは、有料駐車場に限らず、社員用駐車場や入退構管理、物流管理など様々な場面で車両特定の標準ツールとして認知されつつあります。



ナンバープレート情報の重要性が増すにつれて、偽造ナンバー対策など別の課題なども発生してくると思われられますが、確実にナンバーを捉え、他のシステムやデータ基盤との連携・連動ができるカメラ式システムに対して確実に社会インフラとしての期待が高まっていると言えるでしょう。

#### [出典]

乗り逃げ率：

ゲート式 2012年10月30日日経産業新聞「貸し駐車場IT化で進化」

フラップ式 「アイテックウェブサイト」 <https://www.i-tech-corp.co.jp/lp/>

国内ナンバー認識率：

アイテック ウェブサイト <https://www.eyetech.jp/product/lpr/>

シー・ティ・マシン ウェブサイト [https://www.ctmachin.co.jp/product/vehicle\\_recognition/](https://www.ctmachin.co.jp/product/vehicle_recognition/)

タイムズ ウェブサイト <https://www.times24.co.jp/service/times/camera-parking.html>

## 駐車場管理システムに先端技術を提供します。

株式会社 富士ダイナミクス

地域の再開発、土地空間の有効活用など駐車場は都市機能には欠かせないスペースとなっています。病院、ショッピングセンター、レジャー施設など、目的に合わせたシステムを提供します。

### 先端技術のご提供

#### ■ Edy（電子マネー付）会員カードシステム

事前にチャージしているバリューから支払いが可能。現金でのやり取りがないため、安全且つスピーディーに精算できます。  
ICカードに駐車場利用状況をポイントとして蓄積し、ポイントに応じた割引等のサービスにより、リピーターの獲得が可能となります。

#### ■ DSRC連動・入退場システム

ETC車載器を搭載している車両は、自動ゲート開閉によるスムーズな入退場ができ、尚且つ決済の自動化によりキャッシュレスでの入退場が可能です。

### 駐車料金精算システム

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ■ 全自動出口精算システム   | ■ フラップ式精算システム |
| ■ 車番認識システム      | ■ POS連動精算システム |
| ■ 認証システム        | ■ 事前精算システム    |
| ■ 出口有人精算システム    | ■ 均一料金精算システム  |
| ■ 機械式駐車装置連動システム |               |
| ■ キャッシュレス精算システム |               |

### 入出庫管理システム

- ICカードシステム
- パスカードシステム
- リサイクルカードシステム
- チェーンゲートシステム
- リモコンゲートシステム

### 駐車場管制システム

- 車路管制システム
- 駐車場満空管理システム
- 各階台数計数システム
- 車室在否管理システム
- CCTV監視システム

三菱プレジジョン（株）代理店  
株式会社 富士ダイナミクス

ホームページ <http://www.fuji-dynamics.co.jp/>

- |  |   |   |
|--|---|---|
| ● 本社<br>東京都目黒区青葉台1-28-9<br>TEL 03 (3793) 5411                          | ● 営業本部<br>東京都目黒区東山1-4-4<br>目黒東山ビル4階<br>TEL 03 (3793) 7411                                   | ● 仙台営業所<br>仙台市太白区富沢1-11-21<br>TEL 022 (244) 5461                        |
| ● 名古屋営業所<br>名古屋市瑞穂区大新町1-2-6<br>ロイヤル牛巻第1 2階<br>TEL 052 (883) 0700       | ● 大阪営業所<br>大阪市東淀川区東中島2-9-15<br>TEL 06 (6325) 2761   | ● 福岡営業所<br>福岡市博多区中呉服町3-10<br>勝治呉服町ビル<br>TEL 092 (282) 3491              |
| ● 丸の内サービスセンター<br>東京都千代田区有楽町1-10-1<br>有楽町ビル4階 421<br>TEL 03 (3287) 0594 | ● 横浜サービスセンター<br>横浜市西区みなとみらい2-2-1<br>横浜ランドマークタワー29階<br>TEL 045 (224) 2256                    | ● 湘南事業所<br>鎌倉市山崎662-2<br>TEL 0467 (45) 6867                             |
| ● 湘南サービスセンター<br>鎌倉市山崎662-2<br>TEL 0467 (45) 6867                       | ● 羽田サービスセンター<br>東京都大田区羽田空港 3-3-2<br>東京国際空港旅客ターミナルビル<br>三菱プレジジョン株式会社 内<br>TEL 03 (5756) 7245 | ● さいたま出張所<br>埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1<br>浦和パーキングセンター内4F<br>TEL 048 (764) 9290 |
| ● 相模原出張所<br>相模原市中央区矢部1-3-14<br>大河原ビル201号室<br>TEL 042 (730) 6611        |   |   |

# AMANO



## 「交通系ICカード」 だけで、入出場も決済も！

### チケットレス駐輪場システム

駐車券・定期券の代わりに交通系ICカードを活用した  
“チケットレス・キャッシュレス”のゲート式システム。

「チケットレス駐輪場システム」動画を見る



個別ロック式システム



駐輪場クラウドサービス



ゲート式システム

駐輪場のことならアマノにおまかせ！

調査・分析

開発設計

システム構築

設置・工事

保守メンテナンス

管理受託

経営受託

 **アマノ株式会社**

神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地  
(045) 439-1516  
<https://www.amano.co.jp/Parking/>

# これからの都市パーキングに、 三菱プレジジョン。



## ロック板システム

小スペースでの駐車場運営に最適なシステムです。  
規模に合わせたシステムをご用意します。



## DSRC システム

駐車場出入口上に専用のアンテナを設置し、登録済みのDSRC車載器搭載車両がくると自動でゲートが開きます。



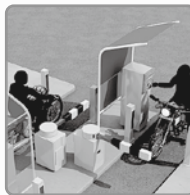
## 車番認識システム

駐車場出入口に設置したカメラでナンバープレート内の情報を記録。情報は文字データとしてPC管理できます。



## 駐輪システム

自転車・バイク両方の駐輪システムをラインナップ。  
車両をロックやチェーンで個別に管理して1台の精算機で集中管理するシステムと、出入口をゲートで管理する2種類のシステムをご用意。  
駐輪場の規模や立地環境に合わせたシステム構成をご提案します。



\* 駐車場の運営管理についても私たちにご相談ください。

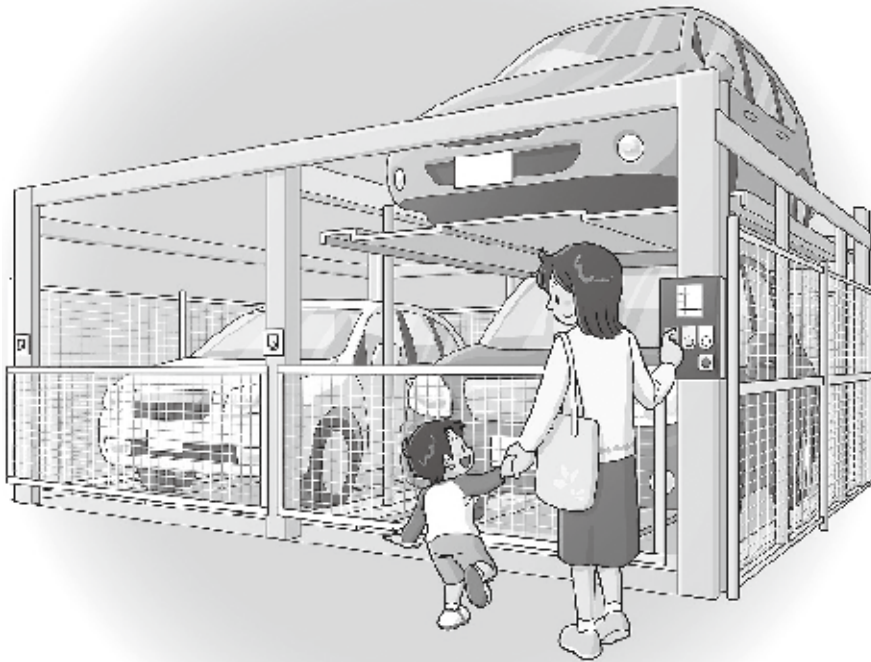
創造と信頼で未来をひらく  
**三菱プレジジョン株式会社**

本社・営業本部  
〒108-0075 東京都港区港南1-6-41  
芝浦クリスタル品川8階  
<https://www.mpcnet.co.jp>

お問合せ先  
**駐車場システム営業部 ☎03-6712-1732**

中部支社	052-961-3557	静岡営業所	054-204-4505
関西支社	06-6484-7206	中四国営業所	082-546-2176
北海道営業所	011-213-7826	九州営業所	092-273-0880
東北営業所	022-216-4615		

## 公益社団法人 立体駐車場工業会は、平成27年1月から 施行されました新大臣認定制度の登録認証機関です。



公益社団法人 立体駐車場工業会とは—

平成27年1月1日施行の駐車場法施行規則の認証機関として登録されました。

大臣認定制度に規定された「安全機能に関する基準」をクリアする当工業会が定めた「機械式駐車装置の安全機能に関する認証基準」に基づき、審査・認証を厳格に実施してまいります。

その他、従来審査・認定をしていた車いす使用者対応等の認定も行います。

「安全で便利で信頼性の高い駐車場の提供」これが当工業会の願いです。

人にやさしい機械式立体駐車場の普及に努めています。



公益社団法人 **立体駐車場工業会**

Japan Parking System Manufacturers Association Incorporated

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目9番9号 SHビル6階

TEL.(03)5542-0733 FAX.(03)5542-0735

ホームページ <https://www.ritchu.or.jp/>

## あらゆる駐車場に対応した総合メンテナンス会社

日本全国 24時間365日 大小問わず 合理的な料金でOK!!

### 日本駐車場救急サービス株式会社

#### ■会社概要

当社は、平成5年12月、駐車場関係諸官庁、団体、メーカー等のご要請により、業界の健全な発展のため、自動車業界のJAFを模して、駐車装置の保守サービス専門会社として設立されました。当社は日本全域24時間体制のもと、合理的な料金で対応できるネットワークで構築されております。

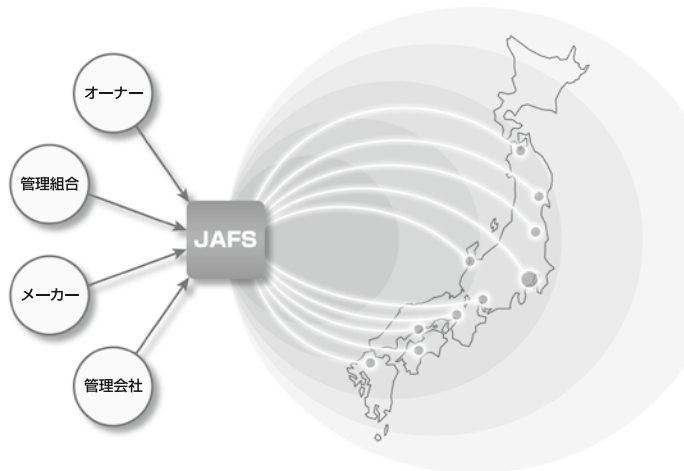
業務の内容は、定期メンテナンス（点検、調整、給油）24H故障対応、補修工事などを行います。

JAFSのアフターサービスシステムは、単なるメンテナンス工事の下請けではありません。

アフターサービス、メンテナンスのデータを収集・分析して、的確にフィードバックし、機器の改善、開発、更にはリブレースにも貢献します。

貴社のアフターサービス活動そのものをお引き受けするアウトソーシングシステムです。

社名	日本駐車場救急サービス株式会社
代表者	代表取締役 森井 清
設立	1993年(平成5年)12月
資本金	2,000万円
社員数	40名
事業内容	1.駐車場、駐輪場設備の保守管理及び緊急出動 2.駐車場、駐輪場の遠隔監視及び警備 3.駐車場、駐輪場の建設及びリフォーム 4.駐車場、駐輪場の運営管理
一般建設許可	東京都知事許可(般)第104599号
機械器具設置工事業	東京都知事許可(般-19)第104599号
警備業認定	東京都公安委員会 第2380号
支店	大阪 大宮 金沢 福岡 名古屋



#### 定期メンテナンス



点検、調整、給油

#### 補修工事



定期点検で発見された不具合を迅速に補修、修理

#### 緊急出動



24時間体制でスタッフが徹底監視！お客様のご要望に合った各サービスステーションへ

#### 全国実績及びサービスステーションネットワーク (2011.11 現在)

##### 全国実績

北海道・東北地区	40件	1,258 バレット
関東地区	2,158件	56,957 バレット
中部地区	117件	2,544 バレット
関西地区	326件	8,273 バレット

中国・四国地区	42件	1,239 バレット
九州地区	43件	1,251 バレット

合計 **2,726**件 **71,522**バレット

【お問い合わせ】

社団法人全日本駐車協会賛助会員 一般社団法人日本駐車場メンテナンス協会正会員

**日本駐車場救急サービス株式会社**

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-6-1 TEL.03-3663-1755 FAX.03-3663-1750 URL.<http://www.jafs99.co.jp/>



日本信号は、「安全と信頼」のテクノロジーをもとに、  
より快適な交通社会の実現を

これからも目指し続けます。



日本信号株式会社  
NIPPON SIGNAL

[www.signal.co.jp/](http://www.signal.co.jp/)

■AFC事業部 AFC営業部  
〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 (新丸の内ビルディング13階)  
PHONE:(03)3217-7373 FAX:(03)3217-7377

■大阪支社 交通システム営業部  
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)  
PHONE:(06)6312-3856 FAX:(06)6312-8597

■北海道支店 ■東北支店 ■中部支店 ■九州支店

## 機関誌『PARKING』への広告掲載のご案内

- ・発行部数 1,300部(年4回、4月・7月・10月・1月)
- ・規格 B5判
- ・頁数 50～120頁位
- ・内容 駐車施策等に関する各種記事、各地駐車協会活動報告、各種事例報告、調査・統計資料、総会報告、理事会議事録、研修レポート、事務連絡等
- ・配布先 当協会会員(各地駐車協会会員、個人及び賛助会員)、国土交通省、総務省、厚生労働省、警察庁、国立国会図書館、政令指定都市担当部、都道府県警察本部、東京都、警視庁、警察署(東京都内)、東京消防庁、全国知事会、全国市長会、関係団体等
- ・広告掲載料金

掲載箇所	ページ数	1回あたりの料金		備考
		会員	非会員	
① 表紙裏	1	52,360	77,000	
② 裏表紙裏	1	36,630	55,000	
③ 裏表紙	1	52,360	77,000	
④ 色紙(前・中・後付)	1	28,270	44,000	
⑤ 記事中	1	17,710	24,200	
暑中見舞・謹賀新年	1枠	5,170	7,700	名刺広告

### [備考]

1. 上記は連続掲載の料金とし、1回限りの掲載料金は1割増といたします。
2. 完全版下以外は、広告デザイン・版下製作の実費をいただきます。
3. 消費税増税分を反映した内税表示としています。

# ◆ PARKING NOW ◆

## ■ 持続可能なまちづくりと都市交通の実現に向けた 駐車場マネジメントの推進のためのガイドラインについて ～民間事業者との連携の観点から～

国土交通省都市局街路交通施設課

### 1. はじめに

令和4年に設置した「まちづくりにおける駐車場政策のあり方検討会」では、地域公共交通と連携した「コンパクト・プラス・ネットワーク」なまちづくりや「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり、土地の有効活用などを考慮したまちづくりを見据え、今後の駐車場政策のあり方について検討を行ってきました。

近年の駐車場政策を取り巻く状況の変化等に適切に対応するためには、統合的な政策に基づき、駐車場の量や配置の状況を適切に把握してマネジメントし、適正化していくことが必要です。そのためには、国、地方公共団体、民間事業者がそれぞれの立場で連携して取り組んでいくことが重要であり、その際の指針となることを期待して令和7年5月に「持続可能なまちづくりと都市交通の実現に向けた駐車場マネジメントの推進のためのガイドライン」がとりまとめられたところです。ガイドラインにおいては、民間事業者に想定する役割として、「本とりまとめの考え方を参考とした駐車場設置・運営や、地方公共団体及び他の民間事業者との連携、政策課題に資するサービス等の開発」と記載されております。

本稿では、民間事業者との連携の観点から具体的な事例も交えつつ、ガイドラインを紹介します。

まちづくりにおける駐車場政策のあり方検討会 とりまとめ 概要  
～持続可能なまちづくりと都市交通の実現に向けた駐車場マネジメントの推進のためのガイドライン～

国土交通省

○ 従来の「受け身の駐車場政策」では、車種ごとの需給の不一致や中心市街地への過度な車の流入による渋滞、歩行者の安全性の低下、駐車場設置による景観の悪化、低土地利用の発生等の外部不経済が発生。  
○ 車優先から、歩行者、自転車、公共交通など持続可能な交通手段を優先した、人間中心の「持続可能なまちづくり、都市交通の実現に向けた政策目的達成の手段」として、統合的な政策に基づき「駐車場をマネジメントしていく」攻めの「攻めの駐車場政策」への転換が必要。

<p><b>I はじめに</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間中心の持続可能なまちづくりを考慮した駐車場政策 (コンパクト・プラス・ネットワーク、居心地良く歩きたくなるまちづくり、ユニバーサルデザイン、GX・DX・防災)</li> <li>● 交通の結節点、公共的空間としての駐車場の秩序ある整備・活用 (徒歩官連携による地域でのマネジメント)</li> <li>● 新技術の活用 (自動レール・パークング、車両予約制等)</li> <li>● 施設・観光、多様化するモビリティへの対応</li> <li>● 持続可能な交通手段とのプラス (幅広い世代の利用可能性、環境負荷の軽減に資する自転車等のシェアモビリティ、公共交通やシェアモビリティの活用)</li> </ul> <p><b>本とりまとめにおいて、各主体に想定する役割</b></p> <table border="1"> <tr> <th>国</th> <td>本とりまとめに基づく制度や各種支援施策の検討、個別の技術的助言</td> </tr> <tr> <th>地方公共団体</th> <td>本とりまとめを技術的助言（ガイドライン）として活用、計画や条例・施策の検討・見直し</td> </tr> <tr> <th>民間事業者</th> <td>本とりまとめを参考とした駐車場設置運営や、地方公共団体及び他の民間事業者との連携、政策課題に資するサービス等の開発</td> </tr> </table>	国	本とりまとめに基づく制度や各種支援施策の検討、個別の技術的助言	地方公共団体	本とりまとめを技術的助言（ガイドライン）として活用、計画や条例・施策の検討・見直し	民間事業者	本とりまとめを参考とした駐車場設置運営や、地方公共団体及び他の民間事業者との連携、政策課題に資するサービス等の開発	<p><b>III 具体的な施策の進め方</b></p> <p><b>1. 計画的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ まちづくり、都市交通に係る上位計画を考慮し、適切な目標（駐車場供給・配置に加えて、交通分節率、土地利用等）を設定</li> <li>▶ 需給の把握、定期的な見直し</li> <li>▶ 産学官連携（ユバな団体、物流事業者、駐車場設備管理者等）</li> <li>▶ マネジメントのための施策・手段（駐車場設置運営に係る規制、誘導等）</li> </ul> <p><b>2. 施設の構造設備に係る施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 配置の適正化（郊外駐車場配置等基準導入、駐車場集約）</li> <li>▶ 質の向上（EVチャージ化等の結節点機能の強化、まちの入口としての案内・機能の充実、景観等への配慮による魅力的な駐車場）</li> <li>▶ 車両等の変化への対応（新基準座席付、普通車や貨物車的大型化、リフト付福祉車両の高さ等への対応）</li> </ul> <p><b>3. 駐車場の整備（供給）施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 附属業務の見直し（区域や建築物用途、車種別の量の適正化）</li> <li>▶ 交通施策との調和（公共交通利用促進策による緩和）、配置の適正化（施設・業務の連携）制度の柔軟な運用（既存附属業務駐車場の確保・整備等）</li> <li>▶ 外部不経済への対応（土地利用の適正化、駐車場の質による量の適正化、景観規制等）</li> </ul> <p><b>4. 各種政策課題への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 都市内物流（荷さばき駐車場）・観光（観光バス専用・駐車場等）</li> <li>▶ 多様なモビリティの駐車場の確保（自動二輪車・原付等）</li> <li>▶ 安心・安全の確保（EVチャージ・ユニバーサルデザイン、こどもまなまかまづの、機械式駐車場の安全対策）</li> <li>▶ GX（緑化、EV等）、防災、DX（AVP、駐車場情報等）</li> </ul> <p>※ 太字は制度改正（政令令・標準条例）、丁線は既存制度活用（法・予算）、その他は自治体による運用（参考事例の充実）や今後の検討による対応を想定。</p>
国	本とりまとめに基づく制度や各種支援施策の検討、個別の技術的助言						
地方公共団体	本とりまとめを技術的助言（ガイドライン）として活用、計画や条例・施策の検討・見直し						
民間事業者	本とりまとめを参考とした駐車場設置運営や、地方公共団体及び他の民間事業者との連携、政策課題に資するサービス等の開発						

図1 とりまとめの概要



都市は1都市に留まっています。

海外都市の調査によれば、西欧の多くの都市におけるビジョンは、「クルマ中心の都市」から、「持続可能なモビリティの都市」を経て、居場所としての都市空間を重視する「プレイスのある都市」へ移行する傾向にあるとされています。



図5 都市政策の動向

(3) 駐車場をとりまく動向

交通分野では、持続可能な公共交通・物流・観光の実現が求められており、過度な自家用車利用の抑制や、適切な荷さばき駐車施設の確保、観光バス乗降場所・駐車場の確保等が必要で

す。また、自動車産業においても、CASEをはじめとした、100年に一度の自動車産業の変化の時期とされており、自動運転技術の活用や、車両のシェア&サービス化、電動化等に対応した駐車場が求められています。また、新基準原付や特定小型原付(電動キックボード等)の車両の多様化に対応した駐車場の確保も必要となっています。

■パーク&ライド駐車場の確保・フリンジパーキング利用促進(福岡市)

- 都心部のマイカー乗り入れを減らすため、郊外部に車を停めて、公共交通機関への乗り換えを促すパーク・アンド・ライドに取組んでおり、大型商業施設等と連携して駐車場を確保。
- We Love 天神協議会・博多まちづくり推進協議会等と連携し、フリンジパーキングの利用特典として、乗車人数分の地下鉄・バス片道乗車券の提供を実施。

対象地区	天神地区	博多駅地区
対象駐車場(営業時間)	ボートレース福岡第1立体駐車場(9:00~21:30) アキラパーキング(24時間) グランドパーキング(24時間)	住吉パーキング(24時間) クランドパーキング(24時間)
駐車料金	天神に行く方 駐車料金最大500円(入庫後12時間まで)	博多に行く方 駐車料金最大500円(入庫後12時間まで)
利用特典及び受取場所	乗車人数分の「西鉄バス片道乗車券」もしくは「福岡市地下鉄片道乗車券」を推進 ※福岡市地下鉄片道乗車券はグランドパーキング(七層線周辺区画)のみ対象	
	福岡市観光案内所(ライオン広場内)	博多駅総合案内所(博多駅構内)



出典:福岡市プレスリリース

図6 官民連携によるパーク&ライド等の取組事例

3. 具体的な施策の進め方

(1) 計画的な取組

駐車場政策の検討に当たっては、まちづくり・都市交通に係る計画との連携や産学官の連携による検討が重要です。駐車場の需給を把握するとともに、立地適正化計画や都市・地域総合交通戦略などの上位計画を考慮し、「目指すべき都市の将来像」を検討し、交通分担率や土地利用などの適切な目標を設定した上で、駐車場整備計画等の他の計画と併せて、もしくは任意の計画としてマネジメントに係る内容を含む計画を策定して進めていくことが望ましいです。

また、計画の検討や実施に当たっては、学識者や交通管理者、道路管理者だけではなく、エリアマネジメント団体や駐車場設置運営事業者等と連携して取り組むとともに、定期的な進捗確認や見直しが重要です。

国土交通省が令和6年に実施した調査では、地方公共団体の駐車場整備計画策定時の委員として、学識者や道路・交通管理者を委員としている例は過半となっているものの、公共交通や物流、エリアマネジメント団体等の参画例は少ないところです。例えば、熊本市において、まちなか駐車場適正化計画の推進について審議する「駐車場適正配置検討委員会」（令和元年～）には、公共交通や経済、福祉、観光、地域、不動産などの幅広い分野の民間団体が参加しており、交通関係として「熊本駐車場協会」が参加しています。

本ガイドラインでは、マネジメントの為の施策や手段について、駐車場の設置運営に係る規制や誘導を含む各種制度や取組事例を紹介しています。例えば、豊田まちづくり株式会社は市有駐車場と自社駐車場を一体運営しているほか、中心市街地への来街促進と駐車場の利便性向上を目的として、加盟店のシステムの統一、加盟店利用で駐車料金3時間無料等のサービスに取り組んでいます。他にも、札幌市では、特定のエリアにおいて附置義務の緩和措置(公共交通利用促進措置)を受ける際、取組内容について、まちづくり会社と協議をすることとしています。

駐車場整備計画策定時の関係者

複数回答 (N=66)

	数	割合
交通管理者（警察）	40	60.6%
学識者	39	59.1%
道路管理者（都道府県、地方整備局等）	36	54.5%
商工関係団体・事業者（商工会議所等）	28	42.4%
其他都道府県	21	31.8%
地方運輸局等	13	19.7%
不動産管理・駐車場関係団体・事業者	12	18.2%
公共交通関係団体・事業者	11	16.7%
物流関係団体・事業者	8	12.1%
自治会	7	10.6%
其他国の機関	6	9.1%
不動産開発関係団体・事業者	2	3.0%
エリアマネジメント団体	1	1.5%

図7 国土交通省調査結果(R6)



図8 豊田まちづくり会社  
フリーパーキング事業



図9 まちづくり会社との協議エリア  
(札幌市資料)

(2) 施設の構造設備に係る施策

歩行者中心の街路空間を構築すべきエリアの選定等、街路それぞれの性格づけを踏まえた上で、駐車場の配置の適正化を図ることが重要です。そのためには、路外駐車場配置等基準の導入や附置義務駐車施設等のフリンジへの集約等に取り組む必要があります。

また、質の向上に向けて、駐車場の交通結節点としての機能の向上やまちの入口としての案内等の機能の充実、景観への配慮等により魅力的な駐車場を目指していく必要があります。

また、新基準原付、普通車や貨物車の大型化、リフト付福祉車両の高さなど、車両の変化に対応して、駐車区画の規格の見直しなどの対応が必要です。

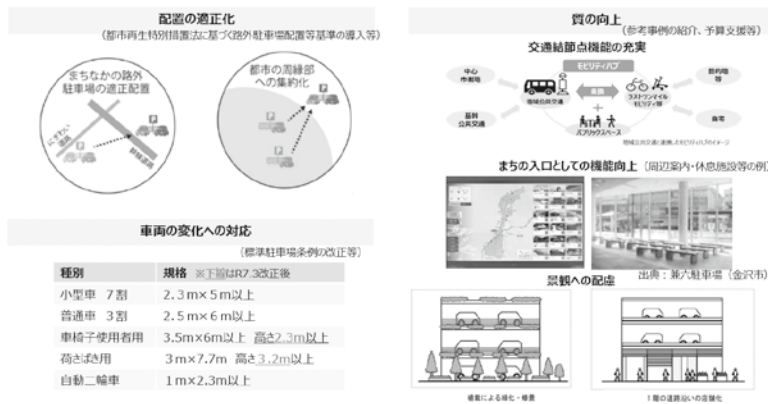


図10 施設の構造設備に係る施策

### (3) 駐車場の整備(供給)施策

荷さばき車両(貨物車)用や自動二輪車用など、依然として十分に整備されない車種の駐車施設もある一方、供給の増加や公共交通分担率向上等により供給が過剰になっている地域が多くなっており、交通施策との調和や配置の適正化を含めた附置義務条例の見直しや制度の柔軟な運用により、区域や建築物の用途、車種ごとの量の適正化を進めていく必要があります。

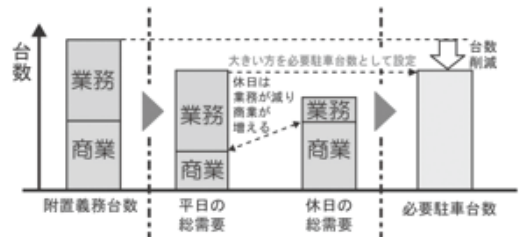


図11 集約による必要台数削減のイメージ

一般に、駐車場の必要台数は施設ごとのピーク需要により決まってくるところ、施設ごとの状況や、施設の性質(業務・商業等)によりピークとなる時間帯や曜日は異なってくるため、駐車場の集約化・地域における駐車場の共同利用を行うことにより、整備台数を合理化できると考えられます。また、施設ごとに駐車場を整備するのではなく、共同で整備して利用することにより、短距離であっても施設ごとに駐車場を移動することによる、車の出し入れを抑制し、歩行者との交錯リスクの減少及び安全性の向上、エリアの回遊性が高まる効果も期待されることです。地方公共団体の附置義務制度の運用に当たって集約駐車場を指定することにより隔地を促していく等の取組との連携だけではなく、地域で民間事業者同士の連携により駐車場の共同整備や共同利用をしていくことも重要です。

また、駐車場の設置に伴う外部不経済に対して、土地利用や駐車場の量の適正化の対応が必要な地域も見られます。本ガイドラインでは、地区内の有料駐車場の設置禁止や交通規制に取り組んだ白川村等の事例を紹介しています。

(4) 各種政策課題への対応

1) 都市内物流の効率化

近年の宅配需要の増加への対応や、道路交通の円滑化等の観点を踏まえれば、路外における荷さばき駐車場の確保の重要性が高まっており、共同住宅を含めた荷さばき駐車施設の附置義務導入や、地域連携による荷さばき駐車施設の確保等により、都市内物流の効率化に取り組んでいく必要があります。

例えば、地方公共団体が荷さばき可能なコインパーキングを指定して活用することや、地域での荷さばきルールの策定・運用、配送事業者専用の駐車区画の確保などにより、地域や関係事業者と連携して取り組んでいる例があります。



図12 官民連携による荷さばき駐車場確保の事例

2) 観光客受入環境(観光バス等)整備

近年の訪日外国人観光客の増加等による観光バス(貸切バス)の無秩序な駐車による歩行者の安全性の低下や道路交通の支障、地域住民への影響を踏まえれば、観光バス駐車場・乗降場所の確保等の対策が必要となっています。観光バスの駐車場や乗降場所の整備・確保といったハード面だけではなく、路上駐車対策や、適切な情報提供、事前予約制導入など、ソフト面も含めた総合的かつ計画的な取組が必要です。

3) 多様なモビリティの駐車環境確保

自動二輪車の駐車場について、大都市部を中心に不足しているという声もあるほか、令和7年4月の改正道路交通法施行規則の施行により、小型自動二輪車に車両の規格に近いと想定されている新基準原付が登場しています。自動二輪車駐車施設の附置義務条例の導入や自転車等駐車場における自動二輪車の受入等により多様なモビリティの駐車環境の確保を進めていく必要があります。

駐車場設置運営事業者においても、駐車場における積極的な自動二輪車の受入(規約や看板において、二輪車が駐車可能であることの明確化等)や、自動二輪車専用の駐車区画の確保などの取組により、地域の多様なモビリティの駐車環境の確保への貢献が期待されます。特に、近年はフラップレスの駐車場やデジタル技術を活用した遊休空間のシェアによる駐車場の設置も増えてきているところであり、こうした駐車場における、積極的な自動二輪車の受入も期待されます。



図13 多様なモビリティの駐車環境確保

4) 安心・安全、GX、防災、DX

我が国において、今後更なる高齢化の進展が見込まれていることや、移動等円滑化により、高齢者や障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができる社会の構築に向けた環境整備が求められていること、子育てで当事者が安心・快適に日常生活を送れる「こどもまんなかまちづくり」の観点を踏まえ

れば、駐車場における車椅子利用者用駐車区画や移動等制約者向けの優先区画（ダブルスペース方式の導入）の設置、移動等円滑化経路の確保、精算機等のユニバーサルデザイン対応等を含むまちなかにおけるバリアフリー化の推進が必要です。

バリアフリー法では、駐車面積500㎡以上の特定路外駐車場に対して、車椅子利用者用の駐車区画の設置や経路の移動等円滑化を義務づけていますが、その他の駐車場においても、車椅子利用者を含む誰もが利用可能な幅広の駐車区画（ダブルライン）を設置するなど、積極的にバリアフリーに取り組んでいくことが望ましいです。加えて、車椅子利用者駐車施設の利用対象者の明確化（パーキング・パーミット制度の導入等）等の適正利用の推進の取組や、駐車後の移動も見据えた統合的な情報提供等のソフト面の取組も重要です。（令和5年3月に策定された「車椅子利用者用駐車施設等の適正利用に関するガイドライン」も参照。）

また、駐車場にEV充電器を設置する際のバリアフリー対応も重要となっており、令和6年8月に策定した「電動車のための公共用充電施設におけるユニバーサルデザイン・バリアフリー対応に関するガイドライン」の活用により、充電器の設計を含めて、施設の事情に応じたバリアフリー化の検討が望ましいです。

また、機械式駐車場において、一般利用者の不注意や維持管理の不足等により死亡等の重大事故が発生していることから、安全対策の推進が必要となっています。「機械式立体駐車場の安全対策に関するガイドラインの手引き」（平成28年策定）や「機械式駐車設備の適切な維持管理に関する指針」（令和3年一部見直し）等に基づく取組が重要です。

2050年カーボンニュートラルや、GX（グリーン・トランスフォーメーション）が大きな政策



図14 複数種類の駐車区画を運用する場合のイメージ（ダブルスペース方式）

課題となっている中、駐車場においても、緑化や暑熱対策、エネルギーの効率的利用の取組等を進めていく必要があります。環境省の調査では、駐車場において暑さを感じている人の割合が高いという結果も出ており、都市において大きな空間を占め、ヒートアイランド現象の一因となるアスファルトの面積の大きい駐車場において、緑化や浸透性や保水性、遮熱性に優れた舗装材料を用いて駐車場を整備すること等により環境負荷の低減を図っていくことは、地球規模課題への対応だけでなく、利用者満足度の向上の観点からも重要と考えられます。

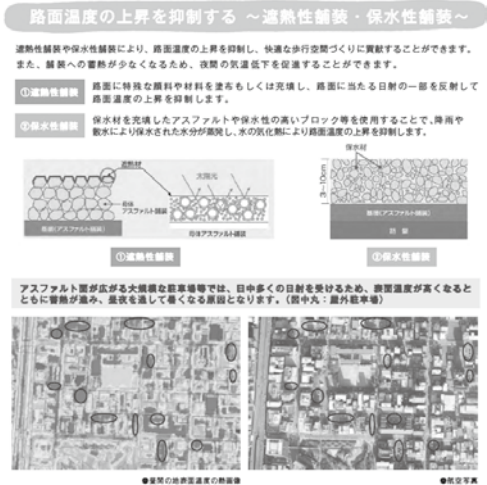


図15 ヒートアイランド対策パンフレットの例(吹田市)

また、近年は地域の防災施策と連携した駐車場の防災機能強化や、駐車場データの取得や活用、フラッグプレス化等の新たな技術を活用した駐車場の需給の適正化や質の向上の取組事例もあり、こうした取組により、まちづくりや交通に係る課題の解決も期待されます。他方、地域や事業者ごとに駐車場情報に係るプラットフォームが分かれており、公表しているデータもそれぞれ異なるほか、捕捉率の観点や、データフォーマットの規格等の課題があることから、今後官民連携による対応が望まれます。

指定緊急避難場所の指定に関する手引き (平成29年3月内閣府)

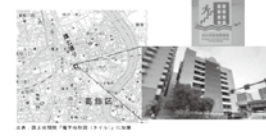
- > 災害対策基本法に基づく市町村長の指定緊急避難場所の指定の際の参考資料として整理。
- ※ 居住者が災害から命を守るために緊急的に避難する施設又は場所
- > 指定基準として、災害に耐えて、管理条件や立地要件、構造要件、耐震要件を満たす必要がある。
- > 公共施設だけでなく十分な避難場所を確保できない場合に、民間施設の指定も検討することとしている。
- 【事例】 防災施設等の自衛式立体駐車場 (防炎の場合) マーパター・ホーンセンター等の駐車場 (地震、火災の場合)
- > 指定を受ける側のメリットと感じてもらえることがあれば指定に向けて調整がしやすいとされている
- 【事例】 地元自衛隊勢を見けることによる企業のイメージアップ、防災マップ等に名称が掲載されることによる知名度向上等
- > 指定避難場所以外についても、民間施設を補完的役割を担う避難場所として位置づけている事例も存在
- 【事例】 指定緊急避難場所ではないものの、駐車場を提供している民間事業者から積極的な提案があった。
- > 指定緊急避難場所の確保が困難な場合の対応として、指定条件を満たす場所等が近隣に無く、指定緊急避難場所を確保することが困難な場合に、市町村において指定緊急避難場所以外の比較的安全な避難場所を確保すること等も記載

■津波避難ビルの指定例 (静岡県静岡市)



出典：津波避難ビル等に係る事例集 (内閣府)

■洪水緊急避難建物の指定例 (東京都葛飾区)



出典：総合的な防災対策の在り方 (東京都)

■地震・洪水の緊急避難場所の指定例 (長野県安曇野市)



出典：くまの防災

図16 防災の観点からの駐車場の活用例

4. おわりに

ガイドラインに記載されている各種政策課題等を踏まえると、駐車場施策において民間事業者等に期待される役割として、例えば、地方公共団体の駐車場整備計画等の検討や運用の際の駐車場関係団体の参画や、駐車場の需給に関する調査への協力、荷さばきや自動二輪車等の多様な需要に対応した駐車場の整備、ユニバーサルデザインやまちの景観に配慮した駐車場、緑化や暑熱対策をはじめとしたGX(グリーン・トランスフォーメーション)等の社会課題に対応した駐車場の整備など様々な場面での連携が考えられます。

こうした取組について、短期的には民間事業者にとって負担となる可能性があるものの、都市において駐車場は目的地ではなく、まちの入口・交通の結節点となる施設であることを踏ま

えれば、質の高い駐車場の整備や、駐車場の需給の適正化等により、利用者の満足度向上やエリアの来訪者増加・回遊性向上、土地利用の適正化等により、中長期的なエリア価値の向上による便益が期待されるほか、持続可能なまちづくりや都市交通の実現への貢献が期待されます。

本ガイドラインを指針としつつ、国としても引き続き地方公共団体や関係団体のみなさまと連携して、更なる施策について検討してまいります。

## ■ 「全日駐規格共通駐車サービス券」導入について

大分市中心部商店街振興組合連合会

事務局：株式会社大分まちなか倶楽部

事業部長 増田 秀樹

<https://oitamachinaka.com/management/about/>

大分市中心市街地では、まちなかでの購買客の利便性向上のため、中心部商店街でお買物をした際に購入額に応じて駐車サービス券(紙券)を発行し、駐車料金を無料または割引する仕組みを運営してきました。しかし、従来のサービススキームでは、駐車サービス券を各加盟駐車場「専用の磁気カード」と交換するために中心市街地に点在する4ヶ所の交換所に行く必要があり、お客様へ身体的ご負担をおかけしていることから、利便性向上を目的に2024年4月1日より「共通磁気駐車券」に変更致しました。

### 1. 事業目的

「共通磁気駐車券」を導入することにより、現状の駐車券交換スキームの課題解決を図り、駐車場利用者の利便性向上に寄与し、まちなか商業の活性化及び来訪者の増加と回遊性の向上につなげる。

### 2. 事業内容

おおいたパーキングネット加盟駐車場の精算機のシステム改造を行い、「共通磁気駐車券」の利用を可能とする。

### 3. 共通磁気駐車券の概要

対象：中心市街地内に点在する19箇所の提携駐車場(次ページの図参照)

形式：磁気方式の共通チケットを採用

仕様：制式スペック2(裏面全面磁気コーティング式)

配布方法：提携店舗で一定額以上の利用時に配布

精算方法：出庫時にチケットを挿入し自動割引処理が可能

この仕組みにより、どの提携駐車場を利用しても、共通の駐車サービスが受けられるようになり、来街者にとって柔軟な移動・買い物・観光が可能になりました。



## 6. 今後の課題と展望

現時点では、対象駐車場のカバー率やPRの方法に課題が残されています。今後は以下の点に重点を置き、さらなる活用促進を図ります。

- (1) 共通磁気駐車券のデジタル化(QRコード化やアプリ連携)による利便性のさらなる向上
- (2) サイン表示や地図など視覚的な誘導の充実
- (3) 提携駐車場及び店舗の拡大とインセンティブ制度の導入
- (4) エリアマーケティングとの連動による利用実態分析と施策改善

## 7. 結論

共通磁気駐車券の導入は、中心市街地を「誰もが気軽に訪れやすいエリア」へと転換するきっかけとなりました。今後も、本制度を地域の交通・商業・観光戦略と連動させ、持続的なまちの魅力向上を目指してまいります。

### 「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い

事務局では皆様から「PARKING NOW」に掲載する情報の提供を募集しています。

以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

- ・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等会員に参考になる情報
  - ・駐車場に関連する各種トピックス
  - ・駐車場を取り巻く自治体の動き
- など

#### 《連絡先》

一般社団法人全日本駐車協会 ☎ 03-3528-8305

e-mail : info@japan-pa.com

## PARKING IN TOKYO

一般社団法人東京駐車協会

## 一般社団法人東京駐車協会 第58回定期総会議事録

1. 日 時 令和7年5月14日(水)  
16時～17時14分
2. 場 所 東京都千代田区丸の内1-4-6  
日本工業倶楽部会館2階  
「大会堂」
3. 総会員数  
正会員 93名
4. 出席会員数  
出席会員数 76名  
内委任状提出会員数 47名
5. 議事の経過および内容  
報告事項 令和6年度事業報告  
第1号議案 令和6年度計算書類承認の件  
第2号議案 令和7年度事業計画承認の件  
第3号議案 令和7年度収支予算承認の件  
第4号議案 役員選任の件
6. その他

## (1)令和6年度主な事業活動

## ①総会・理事会及び委員会の活動

会議の名称	開催回数		
	実開催	書面開催	計
第57回定期総会	1	0	1
定例理事会	4	1	5
総務委員会	1	0	1
企画委員会	3	0	3
組織委員会	1	0	1
調査研究委員会	3	0	3
広報委員会	4	0	4
標識管理委員会	0	1	1
合 計	17	2	19

※委員会は原則として対面とオンラインを併用したハイブリッド開催

※調査委員会の実開催数にはオンラインのみのWG1回を含む

## ②教育研修活動等

全日本駐車協会の中核団体として、同協会開催の教育研修活動の実施に協力するとともに、会員の参加を促した。個々の活動内容は、全日本駐車協会通常総会報告(本誌掲載)を参照。

## ③その他の活動

## i)路外駐車場案内標識活動

設置本数は、期首360本に対し、新設なし、撤去1本で前年比-1本、期末では359本となった。

## (2)令和7年度事業計画(骨子)

駐車場事業を取り巻く環境の変化や駐車場に求められる役割がかわりつつある社会情勢を踏まえ、価値ある情報を収集し、会員及び駐車場関係者に広く発信していくこと、会員相互の情報交換・意見交換及び相互啓発を活発に行う。これらの取り組みが、業界の発展・成長に必ず寄与すると考え、本年度は活動基本方針として下記6つを重点に置き、協会活動を実施していく。

- ①会員相互の情報交換・意見交換及び相互啓発の促進
- ②価値ある情報の収集と幅広い発信
- ③新規会員の入会促進
- ④協会独自事業の推進(駐車場案内標識事業)
- ⑤全日本駐車協会独自事業に対する協力支援(団体パーキング保険・全日駐規格「汎用(共通)駐車サービス券」と各地駐

車協会との連携強化

⑥東京都他関係官庁の各種施策への協力及び積極的な意見具申

以上

一般社団法人東京駐車協会 役員名簿

令和7年5月14日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	木村 恵司	三菱地所株式会社
副会長	竹歳 誠	三菱地所株式会社
〃	湯川 雅史	公益財団法人東京都道路整備保全公社
常任理事	松澤 壮一	株式会社銀座パーキングセンター
〃	加藤 久喜	有限会社スカイ・ガレージ嶋屋
〃	江戸 耕介	首都高速道路株式会社
〃	増岡 真一	株式会社鉄鋼ビルディング
〃	久保田 浩二	八重洲地下街株式会社
〃	三野 武彦	東京ガレージ株式会社
〃	上條 恵二郎	ダイビル株式会社
理事	後藤 英夫	株式会社藤久
〃	河村 恭臣	株式会社虎ノ門実業会館
〃	渡辺 英一	タイムズ24株式会社
〃	中原 修	三井不動産株式会社
〃	有森 鉄治	株式会社東京流通センター
〃	大平落 忠	三菱地所プロパティマネジメント株式会社
〃	荻野 寿人	丸ノ内ガラージ株式会社
〃	柴田 明雄	カノウ産業株式会社
〃	広畑 義久	新宿サブナード株式会社
〃	村田 仁史	株式会社東京交通会館
〃	吉田 恭彦	三菱地所パークス株式会社
〃	小清水 琢治	日本ガレージサービス株式会社
〃	谷島 秀和	日本パーキング株式会社
〃	松村 秀行	株式会社府中駐車場管理公社
〃	山田 裕三	株式会社サンシャインシティ・ビルマネジメント
専務理事	荒井 昭雄	一般社団法人全日本駐車協会兼務
常務理事	中村 修和	一般社団法人全日本駐車協会兼務
監事	大家 正光	東英興産株式会社
〃	近藤 慶太	株式会社東京国際フォーラム

## ■ 諸会議等報告

○理事会在下記の通り開催されました。

「第2回定例理事会」

開催日：令和7年5月14日(水)

場 所：日本工業倶楽部会館 3階「中ホール」

議 題：決議事項

1. 役員候補者の選任について
2. 第58回定期総会議決権委任状の受任者の選任について

報告事項

1. 会員異動について
2. 第58回定期総会関係について
3. (一社)全日本駐車協会関係事項について
4. その他

「書面決議理事会」

開催日：令和7年5月14日(水)

議 題：決議事項

1. 会長(代表理事)及び副会長(代表理事)選定の件
2. 常任理事及び専務理事(業務執行理事)並びに常務理事(業務執行理事)選定の件

○令和7年度第3回定例理事会のご案内

□日 時 令和7年9月9日(火) 12時00分～(予定)

□場 所 日本工業倶楽部会館(予定)

○その他の会議等が下記の通り開催されました。

<大手町・丸の内・有楽町地区駐車環境対策協議会>

・大手町・丸の内・有楽町地区 地域ルール運営委員会(第81回)

令和7年4月21日(月) 大手町ビル

・大手町・丸の内・有楽町地区 地域ルール運営委員会(第82回)

令和7年6月26日(木) 大手町ビル

<東京都都民安全総合対策本部>

・令和7年飲酒運転させないTOKYOキャンペーン実施に伴う推進委員会 幹事会

令和7年6月4日(水)(WEB)

・第23回東京都道安全・安心まちづくり協議会総会

令和7年7月8日(火)(WEB)

<東京都道路整備保全公社>

- ・ 令和7年度定時評議員会  
令和7年6月26日(木) 公社会議室

# — 事務局だより —

## ■ 理事会報告

「令和7年度第2回理事会」

開催日：令和7年6月11日(水)

場 所：日本工業倶楽部会館3階「中ホール」

議 題：

(決議事項)

1. 役員候補者の選任について
2. 第64回通常総会議決権委任状の受任者(代理人)の選任について

(報告事項)

1. 会員異動について
2. 第64回通常総会関係について
3. 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
4. その他

「書面決議理事会」

開催日：令和7年6月11日(水)

決議事項：

1. 常任理事選定の件

## ■ 令和7年度第3回理事会のご案内

開催日：令和8年1月23日(金) 15時30分～(予定)

場 所：日本工業倶楽部(予定)

## ■ 令和7年度事務局長会議のご案内

日 時 令和7年11月7日(金) 13時～19時(予定)

場 所 日本工業倶楽部会館(予定)ほか

## ■ 令和7年秋季駐車場研修会(国内)のご案内

日 時 令和7年10月16日(木)～17日(金)(予定)

場 所 山形方面(予定)

---

## ■ 新会員のご紹介

---

### 上町開発株式会社

■所在地：福島県福島市上町5番6号

■代表者：代表取締役 齋藤 博典

■事業紹介：

上町(うわまち)開発株式会社は、福島県福島市で駐車場とビルの管理業務等を行っており、今年で創立10周年となります。病院隣接の駐車場は、立体駐車場が416台、平場の駐車場が144台と収容台数が近隣と比較して大型の駐車場となっております。自社ビルでは夜間病院、薬局、保育所、リース事業、飲食、エステなど多彩な業種のテナントが入居しております。そのなかでも当社で行っております健康事業「健康ステーション長駅(ながいき)」ですが、ボランティアの方々の協力を得て、定年退職をして時間に余裕が出来た方々を対象に学ぶことや体を動かすことなどの体験教室やイベントを行い、健康増進のお手伝いしております。当社は「健康創造」として地域コミュニティへ貢献することに力を入れて取り組んでまいります。

【お問い合わせ】

TEL (024)563-5866

FAX (024)563-5541

## 平和興産株式会社

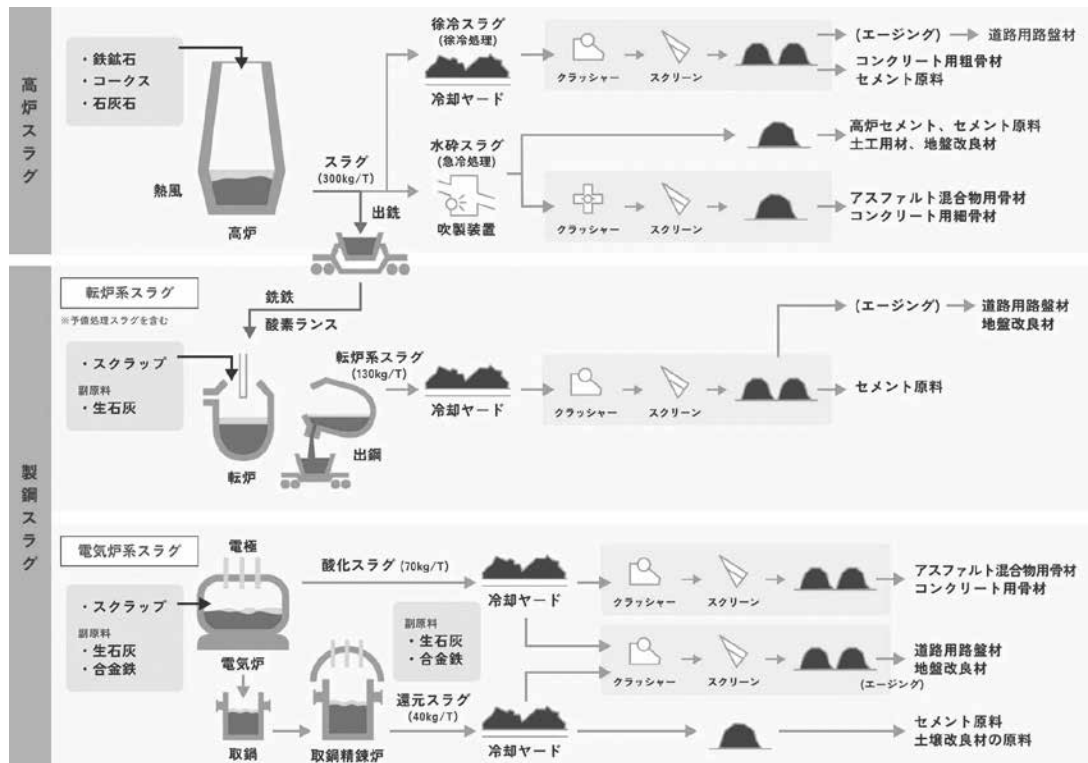
■所在地：岡山県岡山市北区表町三丁目9-21

■代表者：代表取締役 西下 祐司

■事業紹介：

1963年に創業。鉄鋼スラグ並びに建設資材の販売及び輸送を行っています。鉄鋼スラグは鉄鋼の、その製鉄工程で生成されるもので、コンクリートの強度を高めたり、固まる際に発生する熱や、凝固後の収縮を抑制するもの、つまり骨材として使用されたり、道路や駐車場などの舗装構造の下に敷かれる、路盤を構成する材料として使われています。路盤材は、表層の荷重を路床に均一に分散し、路盤の支持力を確保する役割を担います。2002年度には鉄鋼スラグ混入路盤材と鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物が、グリーン購入法における特定調達品目に指定され、環境保全に資する材料として広く認知されており、駐車場にも多く採用されています。

### ■鉄鋼スラグ



(注)鉄鉄・高炉スラグが生産される高炉では、廃プラスチック等のリサイクル資源が副原料として有効利用されている。

## 株式会社ニーリー

■所在地：〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目9-8

■代表者：佐藤 養太

■事業紹介：

株式会社ニーリーは業界No.1(※1)のサービス「パークダイレクト」を運営しています。

「Park Direct(パークダイレクト)」は、駐車場にまつわるあらゆる業務(集客・契約・決済・顧客管理)を一気通貫でデジタル化するモビリティSaaSです。月極駐車場の各種手続きを全てオンラインで完結させ、不動産会社様や借主様の駐車場契約・管理にまつわるアナログなプロセスを大幅に削減します。さらに、駐車場ごとのデータに基づきオンライン/オフラインを問わない様々な集客施策を設計、展開し、月極駐車場の稼働率アップ、オーナー様の収益アップに貢献いたします。

(※1)「月極駐車場のオンライン契約サービス」の「導入社数」(サービス導入をしている不動産管理会社数)と「オンライン契約可能台数」について、2022年12月・2023年12月の(株)エクスクリエによる対象各社(駐車場のシェアリングサービス・サブリースは除く)へのヒアリング調査、並びに、2024年11月の(株)未来トレンド研究機構によるサービス提供事業者に対するヒアリング調査及びデスクリサーチ。



2019年11月1日にサービスを開始し、2025年5月時点で100万台以上の月極駐車場を掲載しています。



<https://www.park-direct.jp/>



【お問い合わせ】

■窓口：<https://cl.park-direct.jp/form/keisai>



## ■ 委員会報告

○委員会が下記の通り開催されました。

「調査研究委員会」

開催日：令和7年5月28日(水)

場 所：全日本駐車協会会議室+オンライン

議 題：新規の調査研究事項について

①具体的な調査内容と質問項目

②調査方法

③スケジュール概要

会員駐車場調査について

その他

開催日：令和7年7月3日(木)

場 所：全日本駐車協会会議室+オンライン

議 題：新規の調査研究事項について

①具体的な調査内容と質問項目

②調査方法

③スケジュール概要

会員駐車場調査について

その他

「企画委員会」

開催日：令和7年7月1日(火)

場 所：全日本駐車協会会議室+オンライン

議 題：令和7年第64回通常総会後の講演会、

見学会実施報告と振り返りについて

令和7年秋季駐車場研修会について

(旅行代理店選定他)

事務局長会議後の見学会について

令和8年度秋季駐車場研修会(海外)

WGについて

その他

「広報委員会」

開催日：令和7年7月4日(金)

場 所：全日本駐車協会会議室

議 題：PARKING第250号振り返りについて

PARKING第251号目次案について

PARKING第252号について(機関誌  
電子化等)

ホームページの運用状況について

会員宛てメールの発信状況について

その他

## ■ 諸会議等報告

<国土交通省都市局>

・全国都市計画主管課長会議

令和7年4月14日(月) オンライン会議

・全国街路交通主管課長会議

令和7年4月17日(木) オンライン会議

・第1回駐車場の需給調査に係る検討会

令和7年7月8日(火) 中央合同庁舎3号館

<国土交通省総合政策局>

・第15回バリアフリー法及び関連施策のあり  
方に関する検討会

令和7年5月30日(金) オンライン会議

<関東運輸局>

・第7回 移動等円滑化評価会議関東分科会

令和7年6月16日(月) オンライン会議

## ■ 会員動静

[入会]

(賛助会員②)

○会員名 株式会社ニーリー(東京駐車協会)

代表者 佐藤 養太

所在地 東京都中央区日本橋堀留町1-9-8

入会日 令和7年4月30日

○会員名 株式会社富士ダイナミクス

(埼玉駐車協会)

代表者 遠藤 直輝

所在地 東京都目黒区東山1-4-4

- 入会日 令和7年7月1日  
 [退会]  
 (地区会員)  
 ○会員名 株式会社福井 ビル管理部  
 (千葉駐車場協会)  
 代表者 宮内 武徳  
 所在地 千葉県千葉市中央区院内1-12-8  
 日企第3ビル4階  
 退会日 令和7年3月31日  
 ○会員名 株式会社 保名(埼玉駐車協会)  
 代表者 島田 昭二  
 所在地 埼玉県さいたま市大宮区大門町  
 3-99  
 退会日 令和7年6月2日  
 ○会員名 福岡地下街開発株式会社  
 (福岡駐車協会)  
 代表者 山本 恭久  
 所在地 福岡県福岡市中央区天神1-6-8  
 天神ツインビル10階  
 退会日 令和7年6月30日  
 (賛助会員②)  
 ○会員名 日本駐車場開発株式会社  
 (岡山駐車協会)  
 代表者 住田 達勇  
 所在地 岡山県岡山市北区下石井1-1-3  
 日本生命岡山第二ビル新館9階  
 退会日 令和7年3月31日  
 ○会員名 株式会社アークノハラ  
 (東京駐車協会)  
 代表者 岡本 力  
 所在地 東京都新宿区新宿1-1-11  
 退会日 令和7年4月30日
- 人事  
 [役員人事]  
 ○辞任 [令和7年5月28日付]  
 常任理事 中尾 卯作

○辞任 [令和7年6月11日付]

常任理事 大嶋 翼  
 理事 山田 一彦  
 理事 伊藤 一孝  
 理事 春田 亮介

### 表紙題材募集のご案内

事務局では、機関誌「PARKING」に掲載する表紙題材の提供を募集しています。以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

- ・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等
- ・駐車場に関連する新築ビル、商業施設等

《連絡先》

一般社団法人全日本駐車協会

☎ 03-3528-8305 e-mail: info@japan-pa.com

### 全日本駐車協会 会員メールアドレス提供のお願い

当協会から会員の皆様宛の情報発信手段は、年4回の機関誌PARKING・ホームページ及び郵送に加えて、タイムリーかつ確実に行える連絡手段としてメールを活用しています。

メールアドレス未登録の会員の方は、ご担当者及びメール配信希望者のメールアドレス等をご提供いただきたくお願い申し上げます。記入票等につきましては下記担当者までお問合せ下さい。

一般社団法人全日本駐車協会事務局

e-mail: member@japan-pa.com

電話: 03-3528-8305 FAX: 03-3528-8306

担当: 松本、船津

PARKING

2025年 第251号

&lt;非売品&gt;

2025年7月25日印刷 2025年7月31日発行  
 編集兼発行人 一般社団法人全日本駐車協会  
 一般社団法人東京駐車協会  
 東京都千代田区内幸町2-2-3  
 日比谷国際ビル地下1階

TEL 03(3528)8305

FAX 03(3528)8306

印刷・製本 (株)エスティ・トーニチ

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

一般社団法人全日本駐車協会

会 長 木 村 惠 司  
副 会 長 竹 歳 誠  
〃 富 山 修 一  
常任理事 齋 野 五兵衛  
〃 城 阪 勝 喜  
〃 菅 原 甚 一  
〃 須 藤 憲 一  
〃 江 戸 耕 介  
〃 三 野 武 彦  
〃 永 井 京 子  
〃 湯 川 雅 史  
〃 依 田 耕 治  
〃 戸 嶋 和 夫  
専務理事 荒 井 昭 雄  
常務理事 中 村 修 和

事務局 東京都千代田区内幸町2-2-3  
日比谷国際ビル地下1階  
電 話 03(3528)8305  
F A X 03(3528)8306

一般社団法人東京駐車協会

会 長 木 村 惠 司  
副 会 長 竹 歳 誠  
〃 湯 川 雅 史  
常任理事 松 澤 壮 一  
〃 加 藤 久 喜  
〃 江 戸 耕 介  
〃 増 岡 真 一  
〃 久保田 浩 二  
〃 三 野 武 彦  
〃 上 條 恵二郎  
専務理事 荒 井 昭 雄  
常務理事 中 村 修 和

事務局 東京都千代田区内幸町2-2-3  
日比谷国際ビル地下1階  
電 話 03(3528)8305  
F A X 03(3528)8306

一般社団法人大阪駐車協会

会 長 城 阪 勝 喜  
副 会 長 菅 沼 健太郎  
〃 小 川 潔

〒552-0004  
大阪市港区夕風2-17-13  
新日企業ビル401  
電 話 06(6577)6788

札幌駐車協会

会 長 遠 藤 隆 三  
副 会 長 水 落 隆 志

事務局 札幌市中央区北1条西2丁目  
北海道経済センター6F  
電 話 011(232)5554

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

山形駐車協会

会 長 齋 野 五兵衛

事務局 〒990-0024  
山形市七日町2-7-2  
株式会社ひろあき  
電 話 023(642)7741

仙台駐車協会

会 長 菅 原 甚 一  
副 会 長 増 渕 多 俊  
〃 松 坂 卓 夫  
〃 西 井 俊 正

事務局 〒980-0803  
仙台市青葉区国分町二丁目11-8  
MSCビル9階  
TEL・FAX 022(266)1801

福島県駐車協会

会 長 三 浦 修 一

事務局 〒960-8043  
福島県福島市中町7-17  
ふくしま中町会館2階  
福島市観光開発株式会社内  
TEL 024(521)2552 FAX 024(521)2551

新潟駐車協会

会 長 富 山 修 一  
副 会 長 大 塚 善 紀  
専務理事 山 崎 太 太

事務局 〒951-8066  
新潟市中央区東堀南通6番町1058番地1  
新潟駐車場株式会社内  
電 話 025(223)1164

高崎駐車場協会

会 長 大 田 部 功

事務局 〒370-0849  
高崎市八島町110-21  
一般財団法人高崎市都市整備公社(内)  
電 話 027(327)6719

埼玉駐車協会

会 長 中 村 茂  
副 会 長 久 保 田 一 男  
〃 小 谷 野 堅 太 郎

事務局 埼玉県さいたま市大宮区  
吉敷1丁目50番地  
会 計 橋 本 直 子  
電 話 048(641)2369 FAX 048(641)5376

千葉駐車場協会

会 長 須 藤 憲 一

事務局 〒260-0045  
千葉県千葉市中央区弁天1-30-10  
TEL 043(216)3211 FAX 043(287)6779  
URL <http://www.chiba-pa.org/index.php>

横浜駐車場協会

会 長 永 井 京 子  
副 会 長 吉 田 泰 治  
〃 細 野 徳 重  
〃 鈴 木 秀 行

〒220-0011 横浜市西区高島2-12-6  
ヨコハマジャスト1号館3F  
横浜新都市センター株式会社内  
TEL 045(453)2614 FAX 045(453)2617

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

静岡県駐車協会

会長 稲葉 一 匡

事務局 静岡市葵区紺屋町 17 番地の 2  
稲森パーキング本社内  
電 話 054(254)5448

名古屋駐車協会

会長 依田 耕 治

事務局 〒453-0801  
名古屋市中村区太閤三丁目 1 番18号  
名古屋KSビル12階  
株式会社エスカ 駐車場部内  
TEL 052(452)1181  
FAX 052(452)1670

兵庫県駐車場協会連合会

会長 宮 浦 栄太郎  
副会長 藤 岡 義 己

〒650-0031 神戸市中央区東町 123 番地の 1  
貿易ビル 905 号  
TEL 078(321)6321  
FAX 078(321)6323

岡山駐車協会

会長 藤 井 一 也

岡山市中区西川原一丁目1-9  
(南エフ・プラン内)  
TEL 086(272)5334  
FAX 086(272)4506

福岡駐車協会

会長 戸 嶋 和 夫

福岡市中央区渡辺通五丁目 14 番 12 号  
南天神ビル10階 中央地所株式会社内  
電 話 092(751)1711



—— 暑中お見舞い申し上げます ——

株式会社 エステイ・トーニチ

代表取締役社長 永澤 剛

東京都江東区越中島2-1-30  
STビル2F  
電話 03(3820)0545

新宿駅西口駐車場

株式会社 小田急ビルサービス

代表取締役社長 菅澤 一郎

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿1丁目西口地下街1号  
電話03(3342)8117 FAX03(3342)1477

柴田ビル駐車場

カハウ産業株式会社

代表取締役 柴田 眞理子

東京都千代田区内神田2-6-4  
電話03(3256)1031 FAX03(3256)1037

神田駐車業組合

理事長 柴田 明雄

事務局 東京都千代田区内神田1-14-6  
(南福利久内)  
電話03(3293)7466  
FAX03(3293)7469

株式会社 銀座パーキングセンター

西銀座駐車場

(銀座・外堀通り地下に平置700台)

代表取締役 渡邊 覚

東京都中央区銀座7-2-6  
電話03(3572)5201(代)  
<http://www.nishiginzaparking.co.jp>

株式会社 サンケイビル

代表取締役社長 飯島 一暢

東京都千代田区大手町1-7-2  
電話03(5542)1300

株式会社サンシャインシティ

代表取締役社長 脇 英美

東京都豊島区東池袋三丁目1番  
TEL03-3989-3321(代表)

首都高速道路サービス株式会社

代表取締役社長 三原 真一

〒103-0027  
東京都中央区日本橋3-11-1  
HSBCビルディング2階  
営業第一部 駐車場営業課  
TEL03-6262-3914 FAX03-6262-7124

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

<p>「優良駐車場認定」  <b>新宿サブナード駐車場</b>                  (地下駐車場400台／二輪車駐車可能)  <b>新宿サブナード株式会社</b>                  代表取締役社長 広畑 義久                  東京都新宿区歌舞伎町1-2-2                  電話 03(3354)6111  <a href="https://www.subnade.co.jp">https://www.subnade.co.jp</a></p>	<p><b>神田西口駐車場</b>                  有限会社 スカイ・ガレージ嶋屋                    代表取締役 加藤 久喜                    東京都千代田区内神田3-3-12                  電話 03(3254)4082 FAX 03(3293)7469</p>
<p>株式会社 <sup>スズ</sup> <sup>カズ</sup> <b>鈴 和</b>                    代表取締役 後藤 義明                    東京都豊島区南池袋2-16-8                  電話 03(3590)1009</p>	<p> <b>ダイビル株式会社</b>                    代表取締役 社長執行役員 丸山 卓                  大阪 大阪市北区中之島3丁目6番32号                  〒530-0005 電話(06)6441-1932                  東京 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号                  〒100-0011 電話(03)3506-7441                  URL: <a href="https://www.daibiru.co.jp">https://www.daibiru.co.jp</a></p>
<p><b>株式会社 鉄鋼ビルディング</b>                    代表取締役社長 増岡 真一                    東京都千代田区丸の内1丁目8番2号                  電話 03(6630)2800(代)</p>	<p><b>東英興産株式会社</b>                  (第一東英パーキング)                    代表取締役社長 大家 正光                    〒101-0053                  東京都千代田区神田美土代町7-4                  東英美土代ビル4階                  電話 03-3292-1041 FAX 03-3292-0370  <a href="https://www.toei-kosan.com/">https://www.toei-kosan.com/</a></p>
<p>株式会社 <sup>トウ</sup> <sup>キョウ</sup> <b>藤 久</b>    <b>TOKYU PARKING／BUILDING</b>                    代表取締役 後藤 英夫                    本社 〒171-0022                  東京都豊島区南池袋2-25-5                  藤久ビル東五号館14階                  電話 03(3971)6243</p>	<p><b>東京ガレージ株式会社</b>                  代表取締役会長 三野 武彦                  代表取締役社長 小清水 琢治                  取締役 石田 生                  取締役 小塚 成                  取締役 小林 成                  取締役 和泉 崇彦                  相談役 小清水 磨                  監査役 本多 紀雄                  東京都千代田区永田町2-14-2                  山王グランドビル4階                  電話 03(3504)0610(代)                  FAX 03(3504)0626                  URL <a href="http://www.tokyo-garage.co.jp/">http://www.tokyo-garage.co.jp/</a></p>

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

株式会社 東京交通会館

東京交通会館パーキング(地下2.3階)

取締役社長 細包憲志

東京都千代田区有楽町2-10-1

株式会社東京流通センター

代表取締役社長 有森鉄治

〒143-0006

東京都大田区平和島6-1-1センタービル

電話 03(3767)2111(代表)

FAX 03(3767)2053

H P <https://www.trc-inc.co.jp/>

株式会社虎ノ門実業会館

代表取締役社長 河村恭臣

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-20

電話 03(3591)5371

株式会社ナリマック

代表取締役 名古屋勝彦

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-13-7

名古屋ビル9階

電話03(3291)0464

日本ガレージサービス株式会社

代表取締役会長 三野武彦

代表取締役社長 小清水琢治

常務取締役 伊藤健太郎

相談役 小清水琢磨

監査役 本多紀雄

東京都千代田区永田町2-14-2山王グランドビル4階

電話 03(3504)0610(代) FAX 03(3504)0626

URL <http://www.tokyo-garage.co.jp/>

株式会社 PMOプラス

代表取締役社長 大嶋翼

Parking Management Organization Plus,Ltd.

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-12

三貴ビル501

Mobile : 090-4078-5499

Tel : 03-6712-6306 Fax : 03-6712-6307

Email : [t-oshima@pmoplus.co.jp](mailto:t-oshima@pmoplus.co.jp)

丸ノ内ガラーヂ株式会社

(新東京ビル駐車場)

取締役会長 松田三四朗

取締役社長 荻野寿人

<http://www.chushajo.co.jp>

東京都千代田区丸の内3-3-1

電話 03(3212)4721(代)

FAX 03(3212)4725

三井不動産株式会社

代表取締役社長 植田俊

東京都中央区日本橋室町2-1-1

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

三菱地所株式会社

執行役社長 中島 篤

東京都千代田区大手町1-1-1  
大手町パークビル

三菱地所パークス株式会社

代表取締役社長 吉田 恭彦

〒107-0062  
東京都港区南青山1-1-1  
新青山ビル東館16階  
TEL 03-5413-4351

三菱地所プロパティマネジメント株式会社

取締役社長 久保 人司

〒100-0005  
千代田区丸の内2-2-3  
丸の内仲通りビル2階  
TEL 03-3287-4111

八重洲地下街株式会社

ヤエチカパーキング

代表取締役社長 窪田 弘美

ホームページ  
<http://parking.yaechika.com/>

東京都中央区八重洲2-1  
八重洲地下街中1号  
電話 03(3271)4111



柳屋ビル屋上駐車場

柳屋ビルディング株式会社

代表取締役 外池 洋隆

東京都中央区日本橋2-1-10  
電話 03(3272)1441(代)

松栄ホールディングス株式会社



代表取締役会長 城阪 勝喜

〒552-0011  
大阪市港区南市岡2丁目10番17号  
TEL 06-6582-0101(代)  
FAX 06-6582-0104  
<http://www.shoei-group.com/>

望月ビル株式会社

代表取締役 望月 敬夫

大阪府豊中市庄内東町2-2-2  
電話 06(6331)0115

遠藤興産株式会社

取締役社長 遠藤 隆三

〒060-0062  
北海道札幌市中央区南二条西  
四丁目4-3 狸上るビル5階  
TEL 011-221-0456(代表)

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

<p>松栄東口第一・第三駐車場 名掛丁駐車場 松栄東口第六・第八駐車場</p>  <p>松栄不動産株式会社 松坂商事株式会社</p> <p>仙台市宮城野区榴岡一丁目2-8 電話 022(295)5080(代)</p> <p>代表取締役 松坂卓夫</p>	<p>タイショーパーキング(東二番町角)</p> <p>取締役社長 西井俊正</p> <p>事務所 仙台市青葉区一番町2丁目2-5 電話 022(223)2654</p> <p>ダイコクパーキング(仙台駅東口)</p> <p>取締役社長 西井俊正</p> <p>電話 022(225)0580</p>
<p>三浦ビル商事(株) (有)三浦商店 みうらガレージ</p> <p>代表取締役 三浦修一</p> <p>福島市新浜町3-4 電話 024(534)2080</p>	<p>新潟駐車場株式会社</p> <p>代表取締役社長 富山修一</p> <p>〒951-8066 新潟市中央区東堀前通六番町1058番地1 電話 025(223)1164</p>
<p>有限会社 大宮駐車場</p> <p>代表取締役 星野敏之</p> <p>埼玉県さいたま市大宮区宮町2-35 電話 048(641)1702 HP : <a href="http://www.omiya-p.co.jp">http://www.omiya-p.co.jp</a></p>	<p>株式会社 マサキ管理サービス</p> <p>代表取締役 中村 茂</p> <p>埼玉県川口市並木2丁目13番8号 電話 048(252)8101 FAX 048(252)0740 HP : <a href="http://www.masakikanri.co.jp">http://www.masakikanri.co.jp</a></p>
<p>株式会社須藤ビル</p> <p>千葉ゴールデンパーキング</p> <p>代表取締役 須藤 憲一</p> <p>千葉市中央区弁天1-30-10 電話 043-254-5422 FAX 043-287-6779 URL <a href="https://www.sudo-biru.co.jp">https://www.sudo-biru.co.jp</a> Eメールアドレス <a href="mailto:info@sudo-biru.co.jp">info@sudo-biru.co.jp</a></p>	<p>株式会社横浜貿易ビル</p> <p>代表取締役社長 齊藤 宏之</p> <p>(本社) 横浜市中区山下町2番地 〒231-0023 045(671)7713</p> <p>(駐車場) 横浜市中区山下町211番地 〒231-0023 横浜貿易ビル駐車場 045(671)7768</p>

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

静岡委託商事有限会社

稲森パーキング

取締役社長 稲葉 一 匡

静岡市葵区紺屋町 17 番地の 2  
電 話 054(254)5448  
<http://www.inamori-parking.com>

株式会社エス力

エス力駐車場

代表取締役社長 依田 耕 治  
〒453-0801  
名古屋市中村区太閤三丁目 1 番 18 号  
名古屋KSビル 12 階  
電 話 本 社 052(452)1181(代)  
駐車場 052(452)1185

株式会社エンゼルパーク

代表取締役社長 塩 谷 剛 史

名古屋市中区栄三丁目 16 番 10 号先  
電 話 052(261)5746(代表)

エンゼルパーク駐車場  
矢場公園駐車場

株式会社セントラルパーク  
セントラルパーク駐車場

代表取締役社長 伊 藤 貴 宣

〒461-0001  
名古屋市中村区泉一丁目 23 番 36 号  
NBN泉ビル5階  
電 話 本 社 052(961)6111(代)  
駐車場 052(951)0051

株式会社東海放送会館

アートパーク東海(駐車場)

代表取締役社長 祖父江 茂 樹

名古屋市中村区東桜一丁目 14 番 27 号  
電 話 052(972)0805

株式会社ユニモール  
ユニモール駐車場

代表取締役社長 古 橋 明

〒450-0002  
名古屋市中村区名駅四丁目 5 番 26 号  
電 話 052(586)2511(代)

株式会社イーエスプランニング



代表取締役 藤岡 義 己

〒650-0044  
神戸市中央区東川崎町1-3-3  
神戸ハーバーランドセンタービル9階  
TEL 078-362-2512 FAX 078-362-2515

綾杉不動産株式会社

綾杉立体駐車場

代表取締役 中 尾 卯 作

〒810-0001  
福岡市中央区天神 1 丁目 15 番 22 号  
電 話 092(751)1310

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

紙与産業株式会社

代表取締役社長 渡 邊 與 之  
〒810-0001  
福岡市中央区天神1丁目12-14  
紙与渡辺ビル10F  
電 話 092(721)4531

紙与パーキング大名  
紙与パーキング店屋町  
紙与パーキング駅三

九州勸業株式会社

代表取締役社長 太 田 禎 郎

電 話 092(291)8291  
FAX 092(281)7383  
福岡市博多区店屋町8番24号

センターパーキング  
ニューセンターパーキング  
駅東パーキング  
交通センター前パーキング

中央地所株式会社

取締役会長 戸 嶋 弘 一  
取締役副会長 戸 嶋 和 夫  
代表取締役社長 戸 嶋 太 一

南天神パーキング  
グランドパーキング

福岡市中央区渡辺通5丁目14番12号  
電 話 本 社 092(751)1711  
パーキング 092(781)3713  
<https://www.chuo-estate.co.jp>  
E-mail:info@chuo-estate.co.jp



お 礼

会員の皆様方に暑中お見舞いの名刺広告の協賛につきましてお願い申し上げたところ、多数の方々のご理解を賜りました。誌上をお借りし、厚く御礼申し上げますとともに、今後ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人全日本駐車協会

## 都内で駐車場を運営されている方へ 駐車場案内標識のご案内

一般社団法人東京駐車協会では、駐車場への案内をスムーズにし、「うろつき運転」を減らすことを目的として、都内で駐車場案内標識設置のお手伝いをしております。

### 公道への設置

- ・道路占用許可をはじめとする各種許可を得て、公道(主に歩道)に駐車場案内標識を設置することができます。

### 申請は協会が

- ・必要な申請手続は東京駐車協会名で協会スタッフが行います。

### 設置工事は協会が

- ・規格に則り、施工会社、行政機関との調整を含めて当協会が設置工事を取り進めます。

### 会員料金

- ・東京駐車協会の会員であれば、諸費用や保証金に会員料金の適用があります。

### 助成金

- ・公益財団法人東京都道路整備保全公社による助成金制度を利用し、助成金の交付を受けることができます。  
(交付には条件がありますので、当協会までお問い合わせください。)



反射式駐車場名入り



反射式駐車場名なし



内照式

駐車場案内標識は、東京駐車協会の会員以外の方でも設置することができ、現在約400本の標識が都内に設置されています。

是非お気軽に当協会までお問い合わせください。

#### [駐車場案内標識に関するお問い合わせ先]

一般社団法人東京駐車協会

担当者：坂口 sakaguchi@japan-pa.com

TEL：03-3528-8305

伸びゆく丸の内と、  
いつもいっしょに。  
丸の内パークイン

「丸の内パークイン」として  
20カ所・約4,700台の  
広域駐車場を運営

since  
1960

1960年 日本初の地下駐車場開業



**PARK-IN**  
丸の内パークイン

<https://www.marunouchi.com/information/parking/>  
Tel.03-3212-0808

飲酒運転は法律で  
禁じられています。

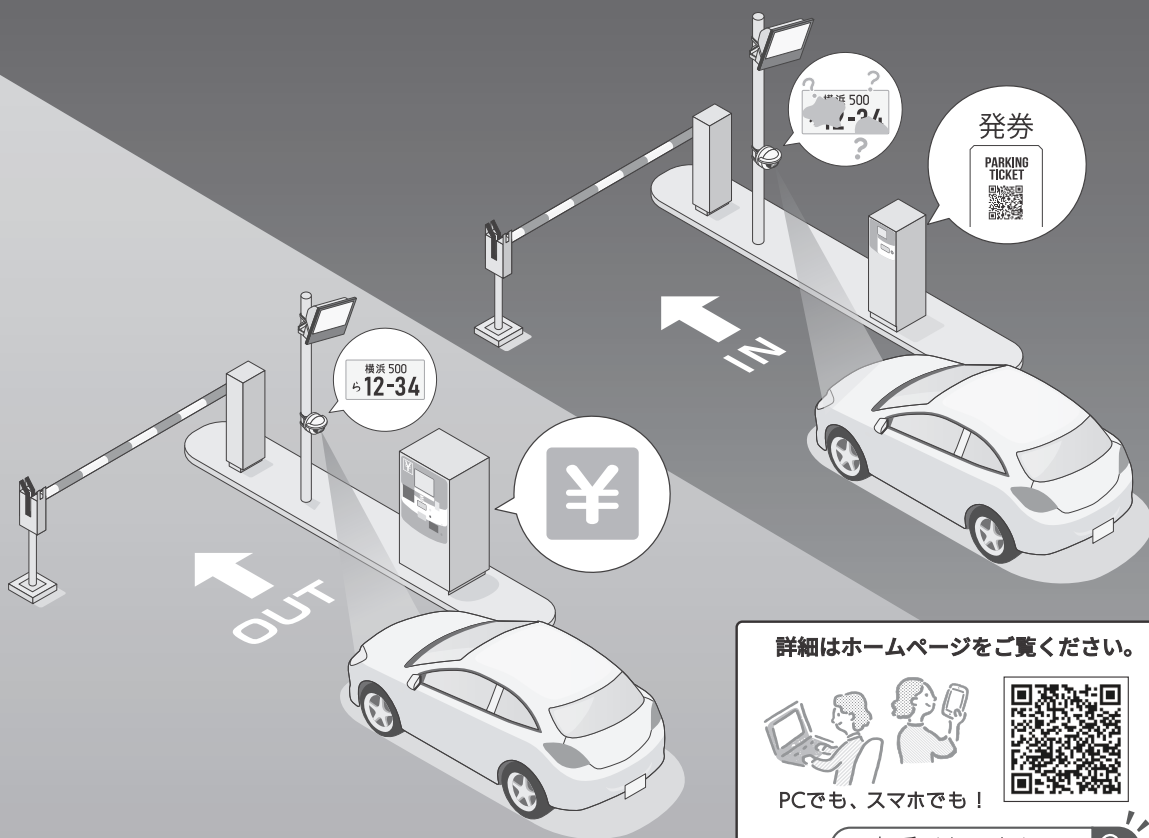
Drunken Driving Prohibited by Law.



Time & Air  
**AMANO**

車番チケットレスシステムが

良いとこ取りのハイブリッドシステムへ



詳細はホームページをご覧ください。



PCでも、スマホでも！



車番チケットレス

駐車場・駐輪場のお悩み、ぜんぶにえます。



駐車場クラウドサービス



Parking Web



調査・分析

開発設計

システム構築

設置・工事

保守メンテナンス

管理受託

経営受託

**アマノ株式会社**

神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地  
(045) 439-1516  
<https://www.amano.co.jp/Parking/>